

**山梨県保険者協議会 医療費・健診データ分析
(令和5年度データ分析)**

**令和8年3月
山梨県保険者協議会**

目 次

◆分析の目的及び内容	1
I 医療費統計（協会けんぽ・国保・後期高齢者）	
1 制度別年齢階層別加入者数・割合	2
2 制度別年齢階層別受診率（入院・入院外・歯科）	5
3 1人当たり医療費（入院・入院外・歯科）	
(1) 制度別年齢階層別1人当たり医療費	7
(2) 市町村別制度別1人当たり医療費	9
4 疾病別医療費	
(1) 制度別疾病別医療費割合・1人当たり医療費（大分類）	10
(2) 市町村別疾病別医療費（大分類）	12
II 特定健康診査（協会けんぽ・国保）	
1 受診率	
(1) 制度別受診率の推移	17
(2) 【国保】性別年齢階層別受診率	17
(3) 市町村別制度別受診率	18
2 メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合	20
3 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（肥満リスク）	22
4 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血圧リスク）	24
5 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血糖リスク）	26
6 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（脂質リスク）	28
7 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（喫煙）	30
8 市町村別生活習慣病リスク保有者の割合	
(1) メタボリックシンドローム該当者・予備群	32
(2) 肥満リスク	34
(3) 血圧リスク	36
(4) 血糖リスク	38
(5) 脂質リスク	40
(6) 喫煙	42
◆まとめ	44
【参考資料】	
・ 制度別市町村別年齢階層別加入者数	46
・ KDBシステムに関する補足資料：疾病大・中・細小分類表	49

◆分析の目的及び方法

1 目的

医療保険制度の枠組みを超えて、医療費や特定健診結果の分析を行うことにより、山梨県における現状や課題を明らかにし、県の「医療費適正化計画」や「医療計画」、「健やか山梨21」に示された目標の達成に寄与するとともに、保険者協議会としての意見提出を行う参考資料とする。

また、保険者協議会として共同で取り組む事業及び各医療保険者における保健事業の企画・実施にあたっての資料とする。

2 方法

(1) 使用データ

次の県内医療保険者における令和5年度のデータを使用した。

- ・全国健康保険協会（協会けんぽ）山梨県支部
- ・山梨県内27市町村国保保険者（国保組合は除く）
- ・山梨県後期高齢者医療広域連合

(2) 集計方法

- ・山梨県内27市町村国保保険者及び山梨県後期高齢者医療広域連合に関するデータは、国保データベースシステム（KDBシステム）を使用し、国保連合会において作成した。
- ・全国健康保険協会（協会けんぽ）山梨県支部のデータは、山梨県支部において作成した。
- ・国保連合会において、上記のデータ（個人情報を含まない）を集計し、グラフ、考察等を作成した。

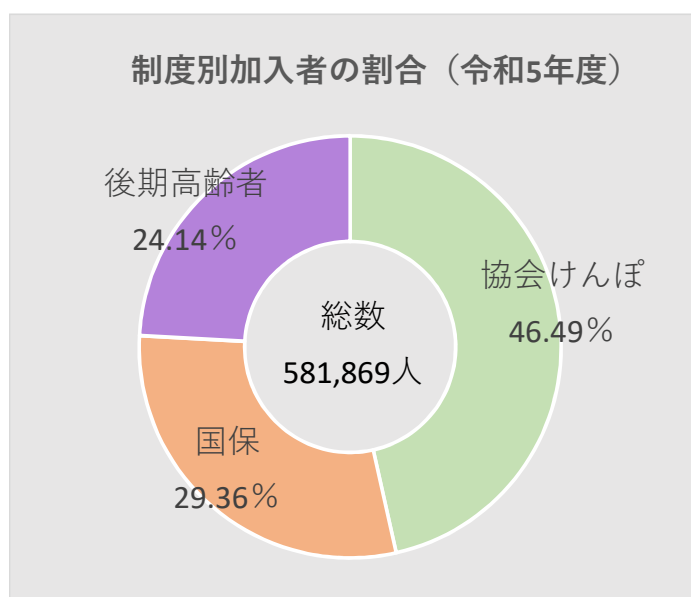
3 留意点

- ・本データは年齢調整を行っていないため、保険者比較において、年齢が高い被保険者が多い保険者は、疾病割合や有所見者割合が高くなる傾向がある。（参照：制度別市町村別年齢階層別加入者数 P46～48）
- ・全国データとの比較は、別途、本協議会で作成した「NDBデータを活用した分析～特定健診、医療費、重複・多剤投与に関する分析～」を参照する。

1 医療費統計(協会けんぽ・国保・後期高齢者)

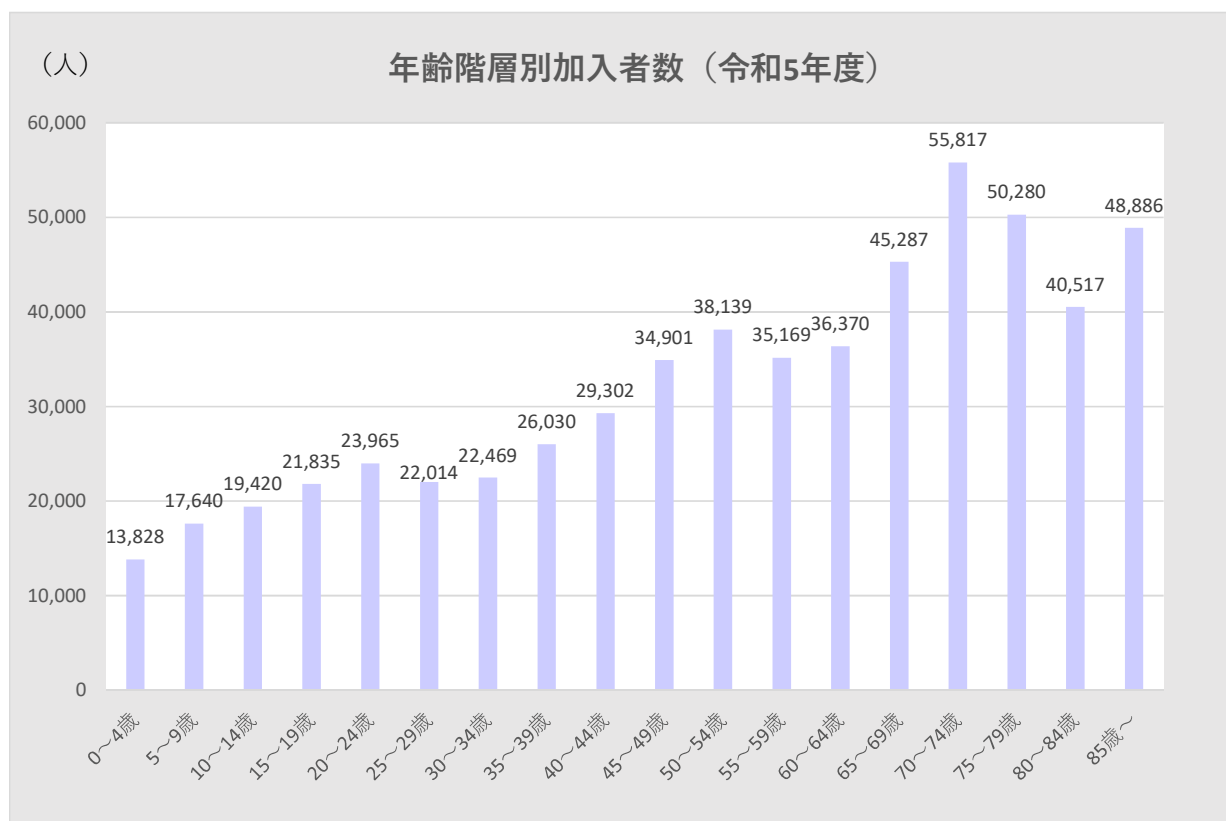
1 制度別年齢階層別加入者数・割合

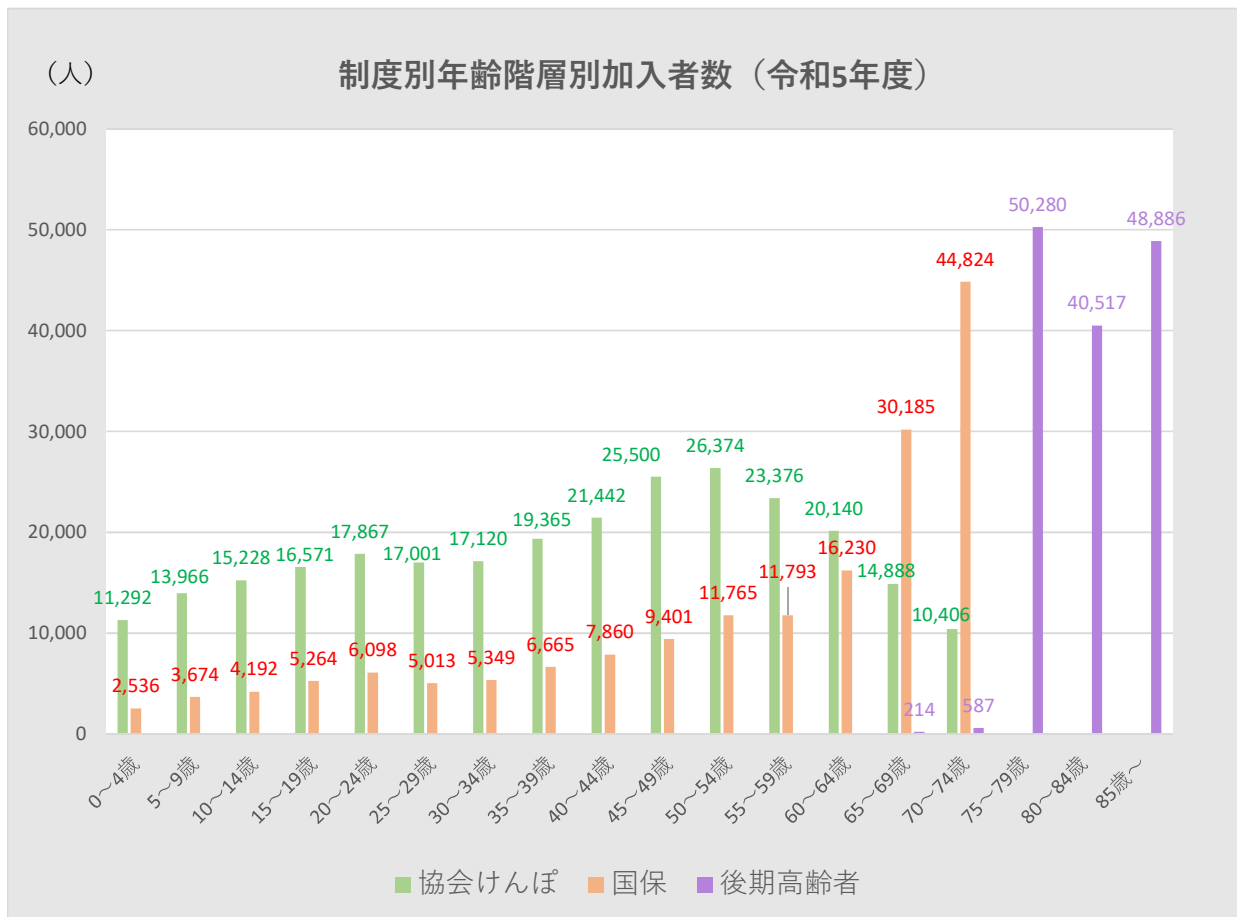
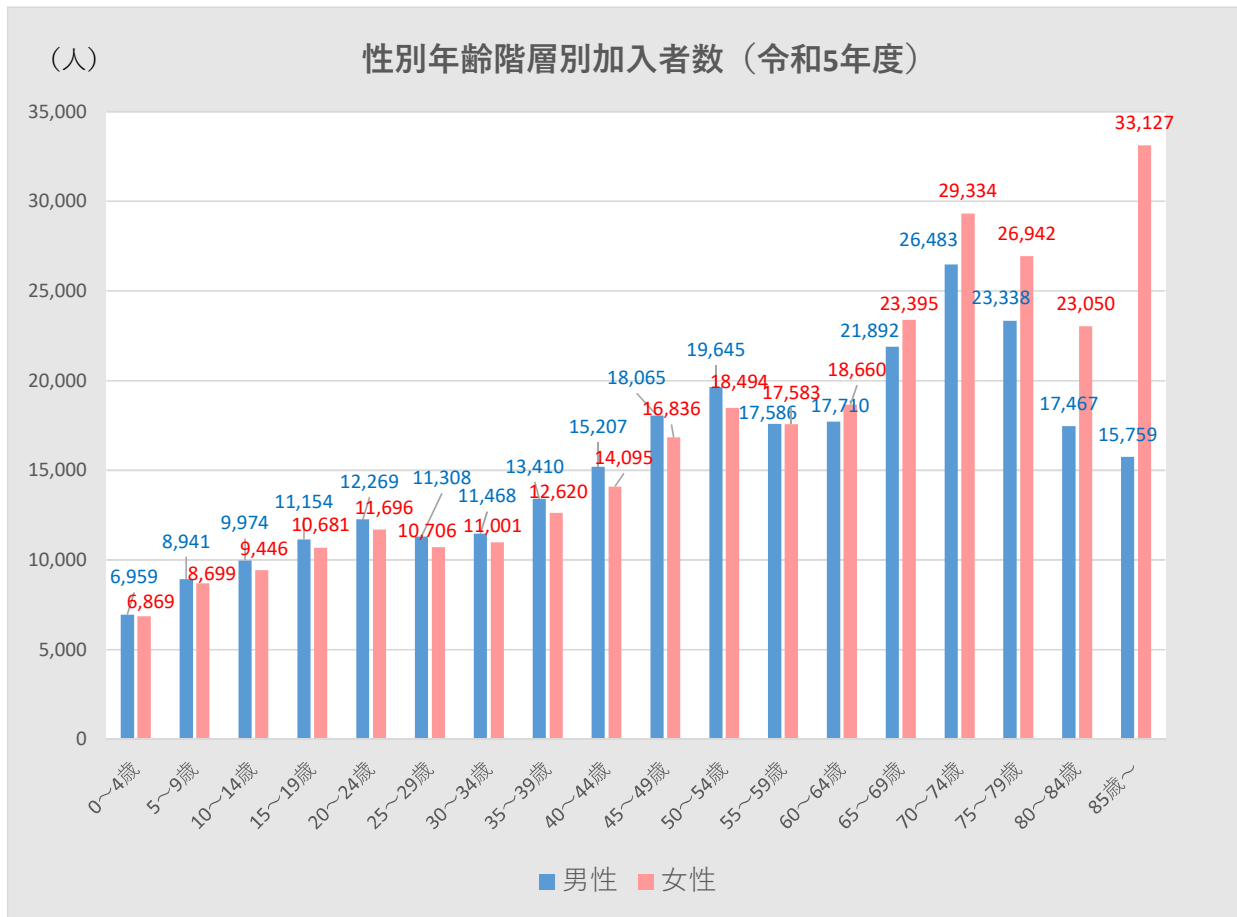
加入者の総数は、約582,000人で同時期の県人口78万人の約75%を占め、制度加入者の割合をみると、協会けんぽが最も高く46.49%を占める。また、年齢階層別にみると、70～74歳が55,817人で最も多く、男女別でみると、50～54歳以下は男性が多く、55～59歳はほぼ同数で、60～64歳以上は女性が多い。協会けんぽと国保を比較すると、60～64歳以下は協会けんぽが多く、65～69歳以上は国保が多い。



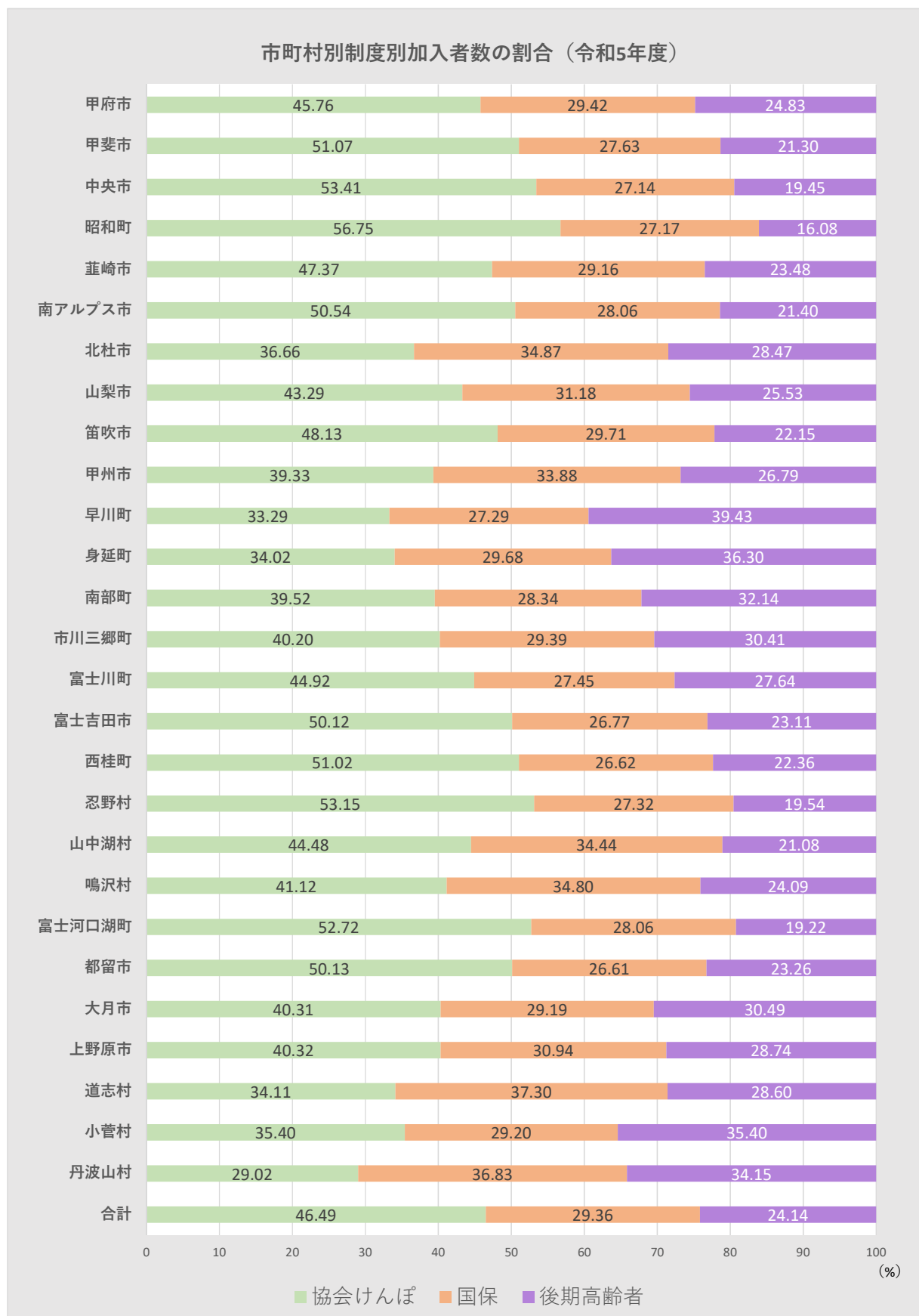
制度別性別加入者数

制度	性別	人数
協会けんぽ	男性	136,098
	女性	134,438
	計	270,536
国保	男性	85,500
	女性	85,349
	計	170,849
後期高齢者	男性	57,037
	女性	83,447
	計	140,484
合計	男性	278,635
	女性	303,234
	計	581,869





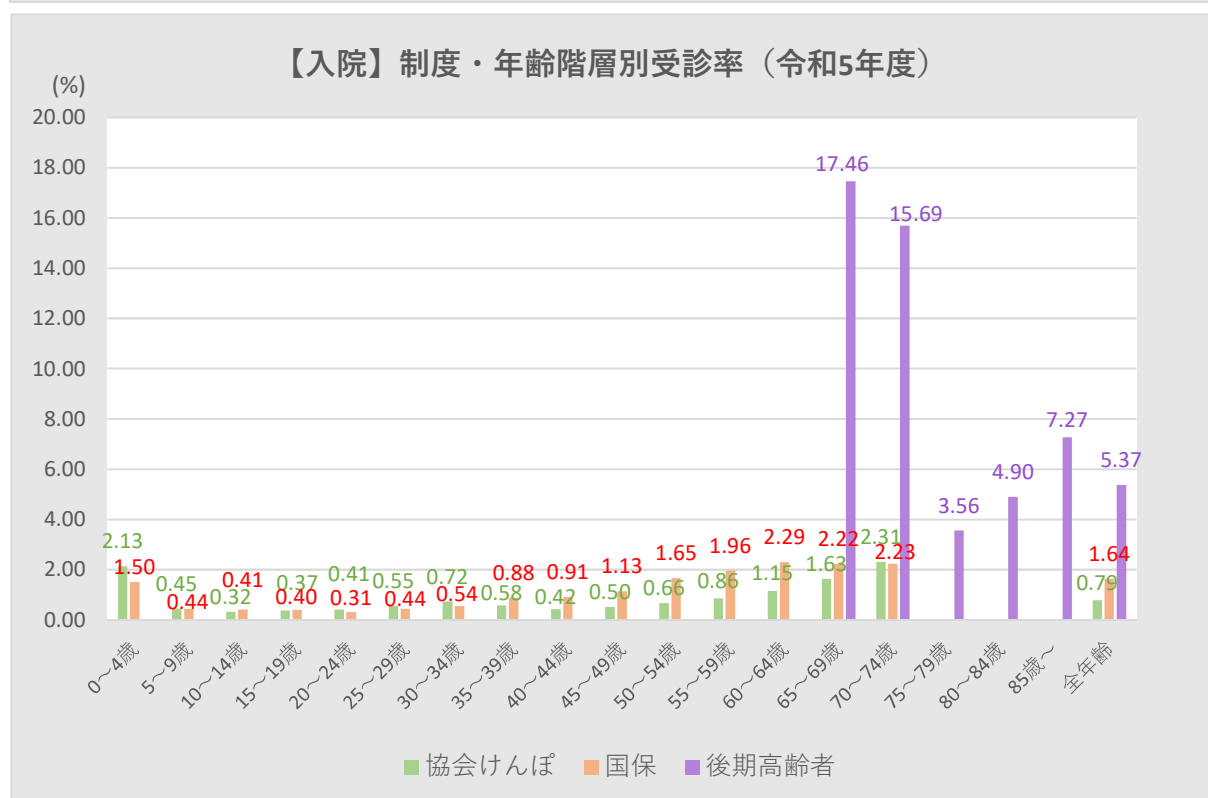
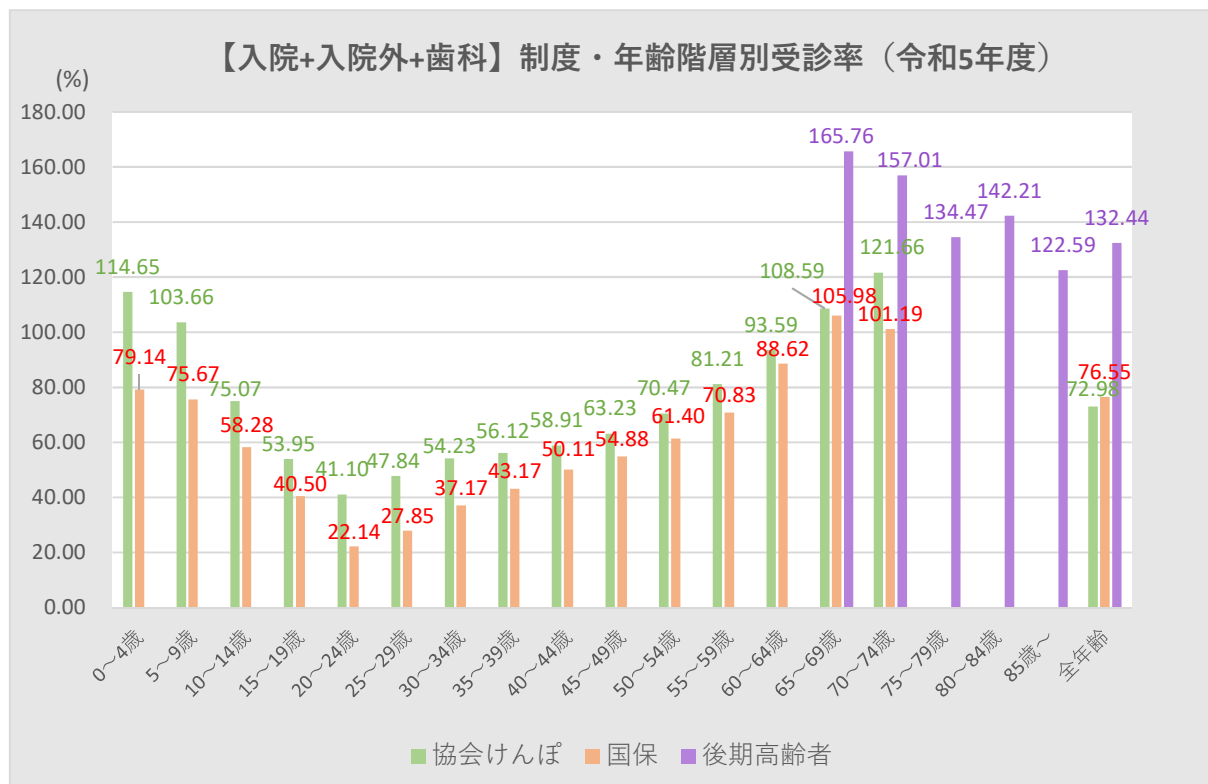
市町村別制度別加入者割合をみると、協会けんぽは、昭和町、中央市、忍野村の順に高く、国保は、道志村、丹波山村、北杜市の順に高い。後期高齢者医療は、早川町、身延町、小菅村の順に高い。



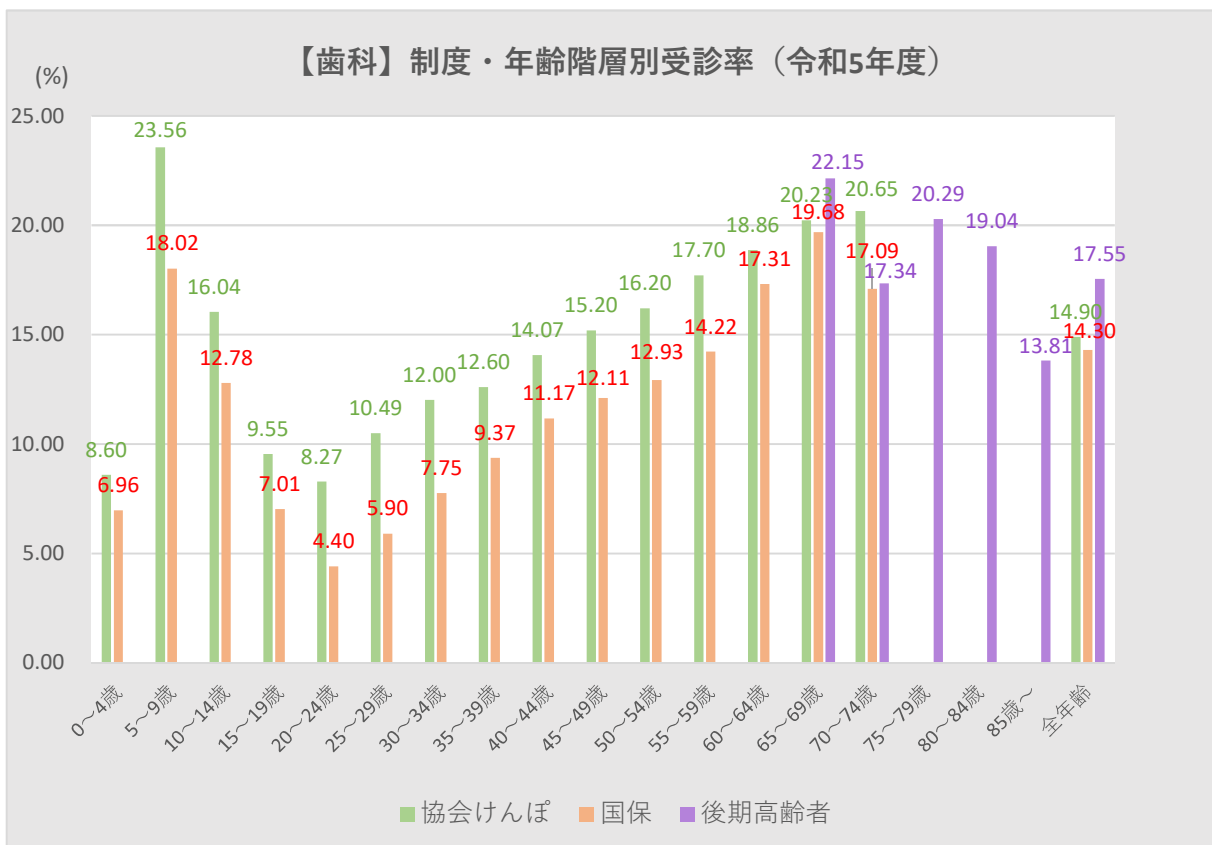
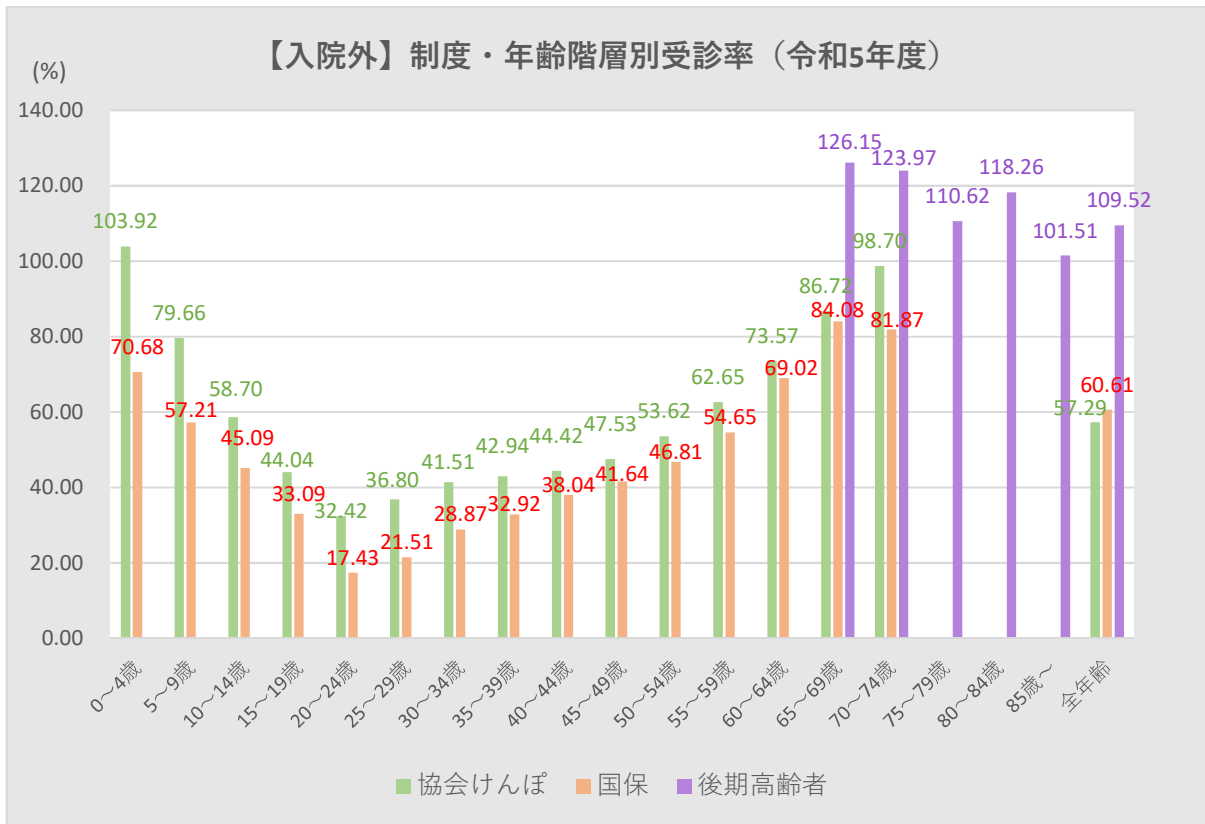
2 制度別年齢階層別受診率（入院・入院外・歯科）

$$\text{受診率(\%)} = \text{レセプト件数(件)} \div \text{加入者数(人)} \times 100$$

年齢階層別受診率をみると、後期高齢者が全体的に高く、協会けんぽ及び国保は0～4歳で高く、徐々に下がり20～24歳で最も低い。その後、徐々に上がり、協会けんぽは70～74歳で、国保は65～69歳で最も高い。なお、後期高齢者医療のうち65～69歳、70～74歳は障害がある場合の加入であり、受診率（特に入院）が高くなっている。



協会けんぽと国保を比べると、入院外と歯科では全ての年齢階層で協会けんぽの受診率が国保より高いが、35～39歳の入院では国保の受診率が協会けんぽより高くなっている。

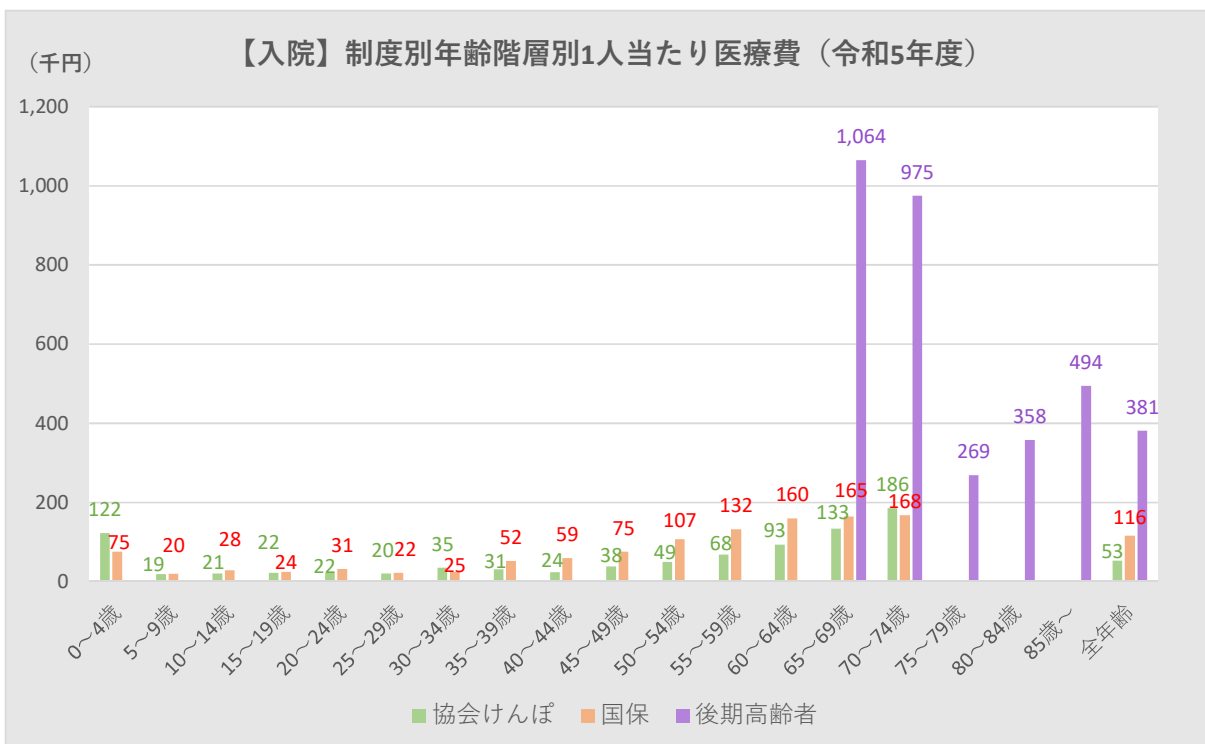
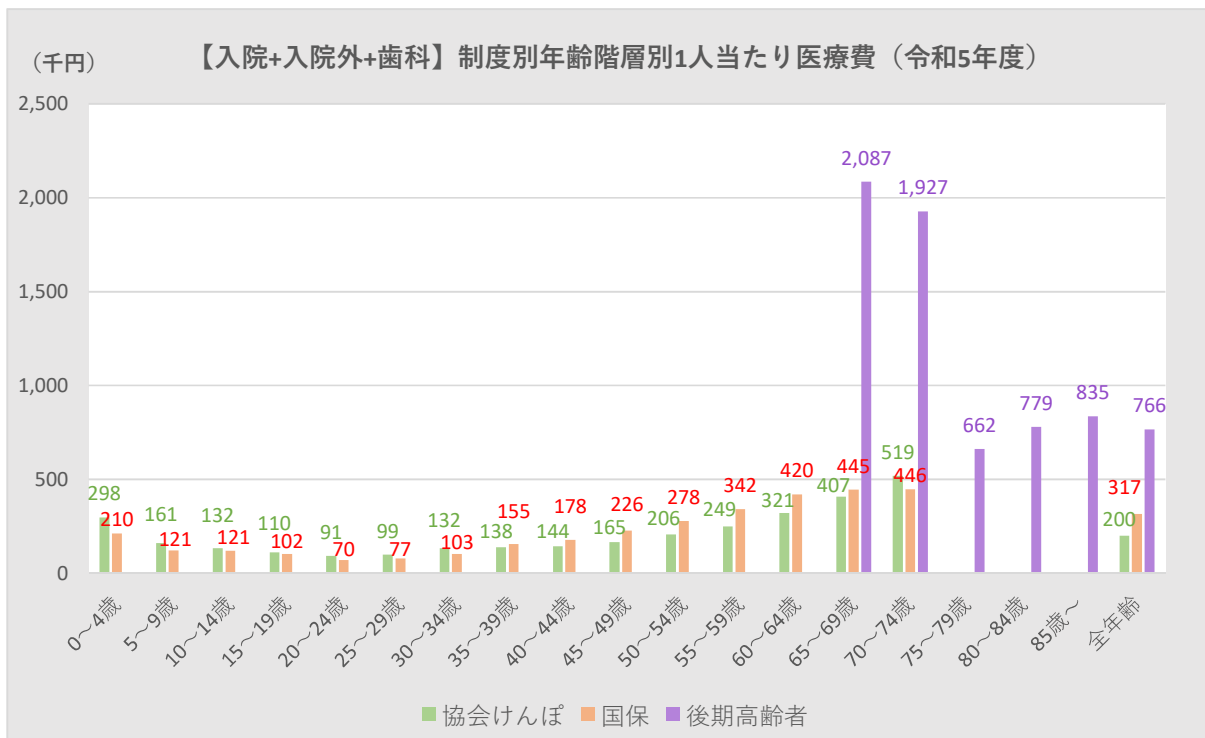


3 1人あたり医療費（入院・入院外・歯科）

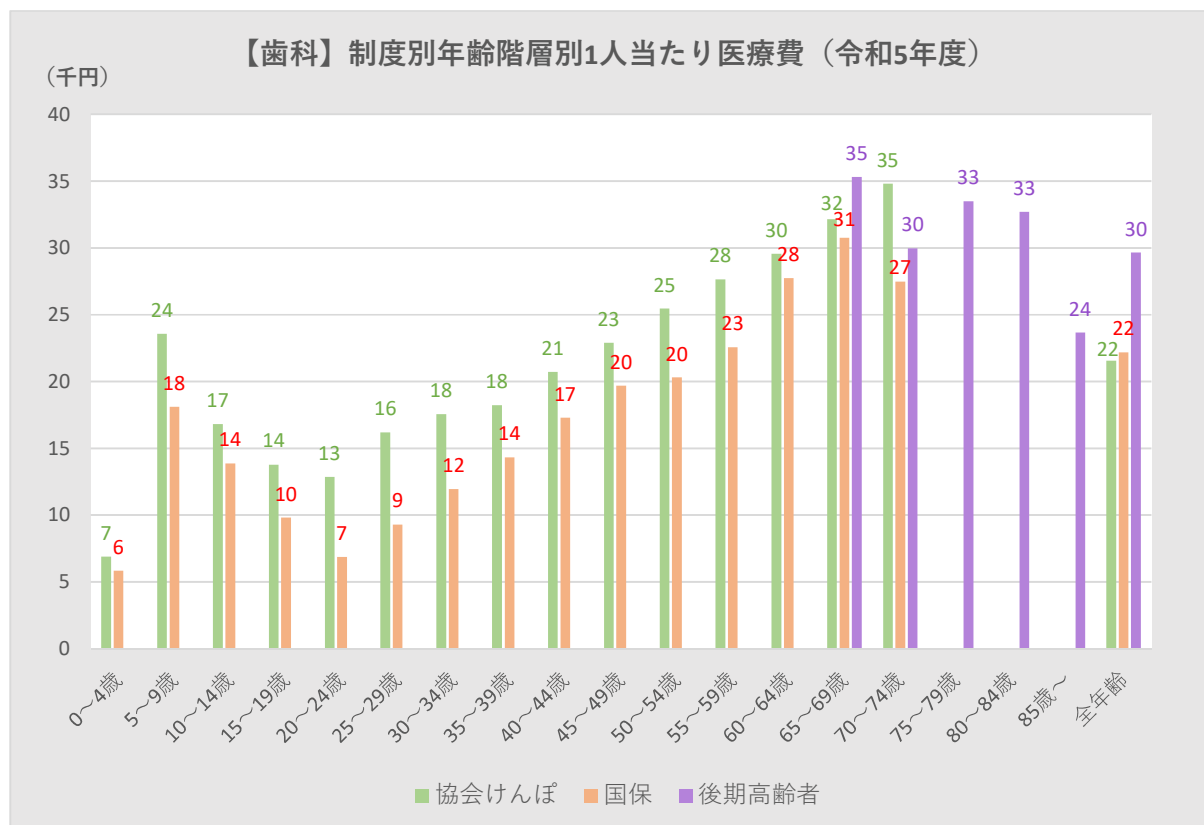
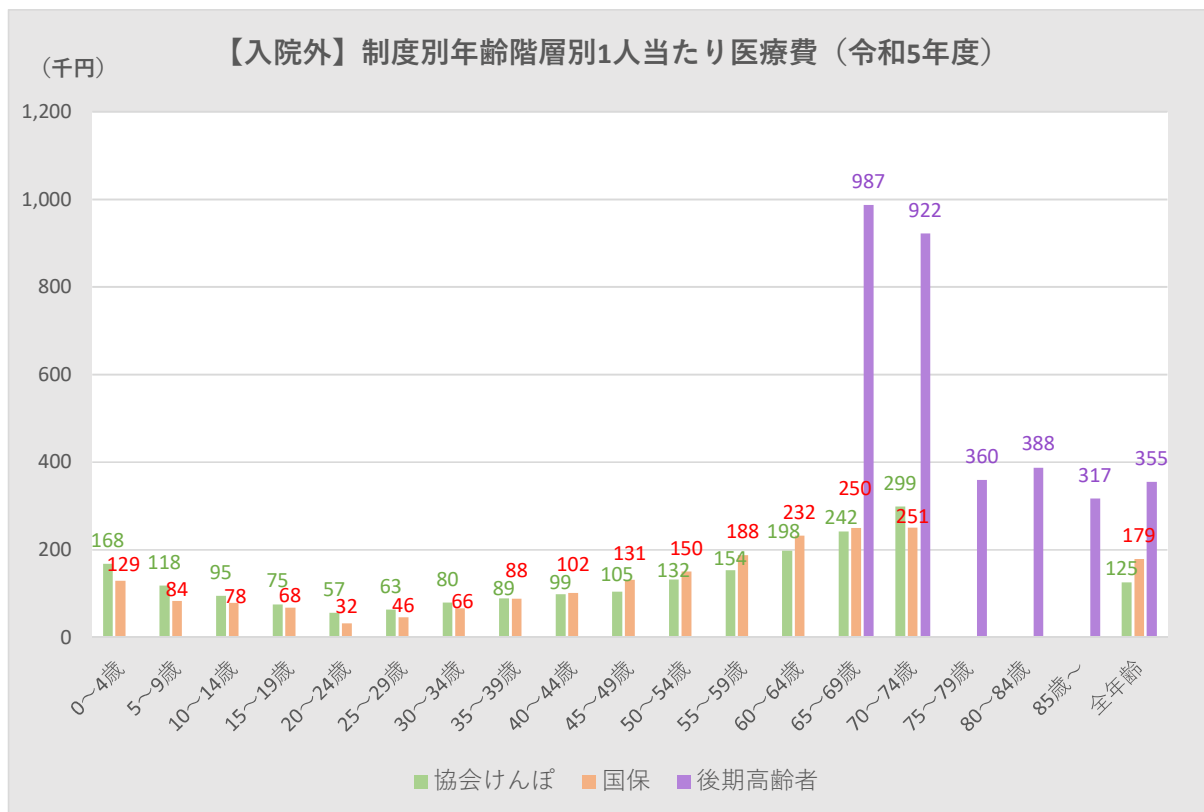
$$1人あたり医療費(円) = 費用額(円) \div 加入者数(人)$$

(1) 制度別年齢階層別1人あたり医療費

1人あたり医療費（年額）は、後期高齢者766,000円、国保317,000円、協会けんぽ200,000円の順に高く、後期高齢者は国保の約2.4倍、協会けんぽの約3.8倍になっている。協会けんぽ及び国保は0～4歳で高く、緩やかに下がり20～24歳で最も低い。その後、年齢に伴い上がり70～74歳で最も高い。なお、後期高齢者医療のうち65～69歳、70～74歳は障害がある場合の加入であり、1人あたり医療費が顕著に高くなっている。



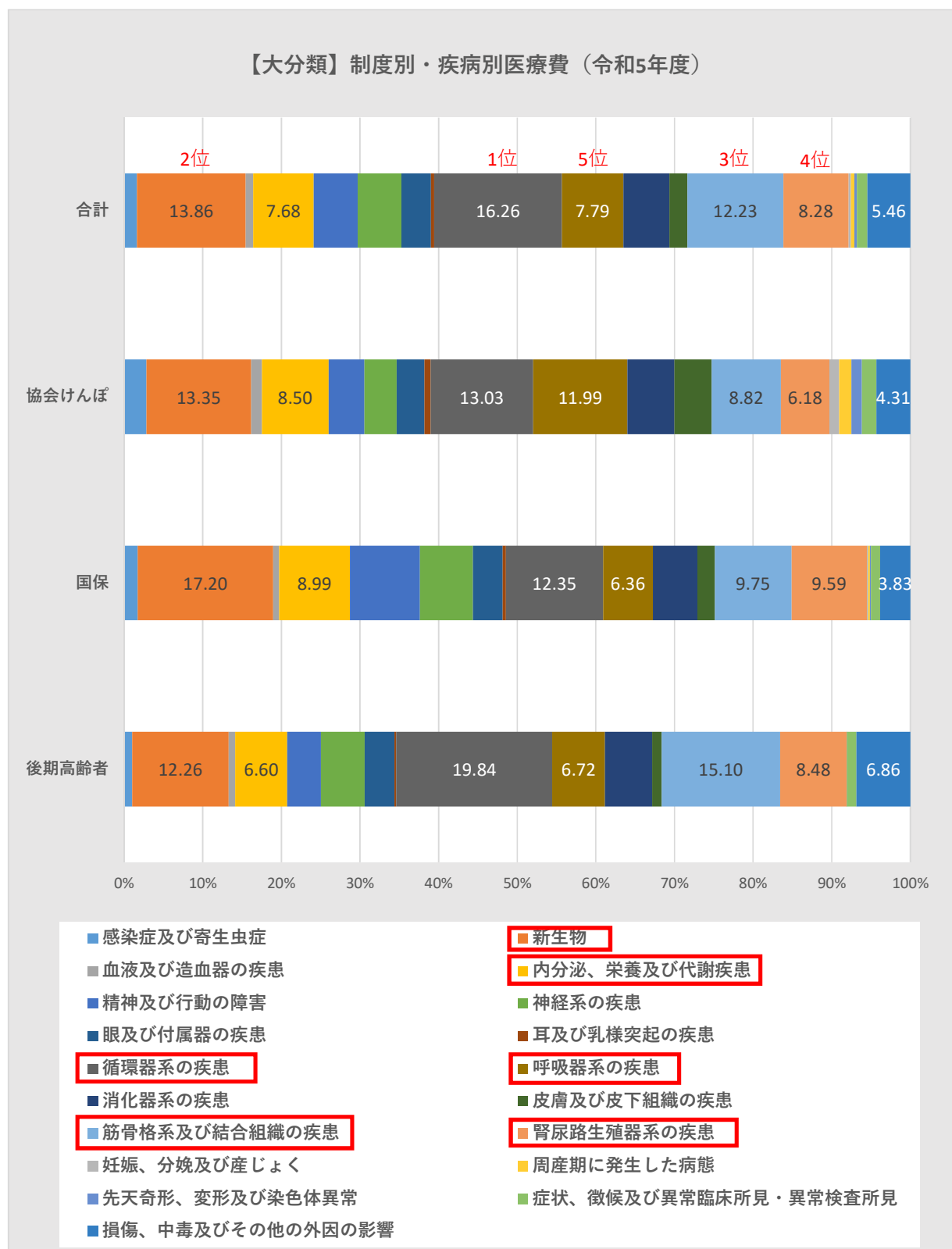
1人当たり医療費を協会けんぽと国保で比べると、30～34歳以下の入院はほぼ同程度で、入院外は協会けんぽがやや高く、35～39歳以上は入院、入院外ともに国保が高い。歯科は、すべての年齢階層で協会けんぽが高い。



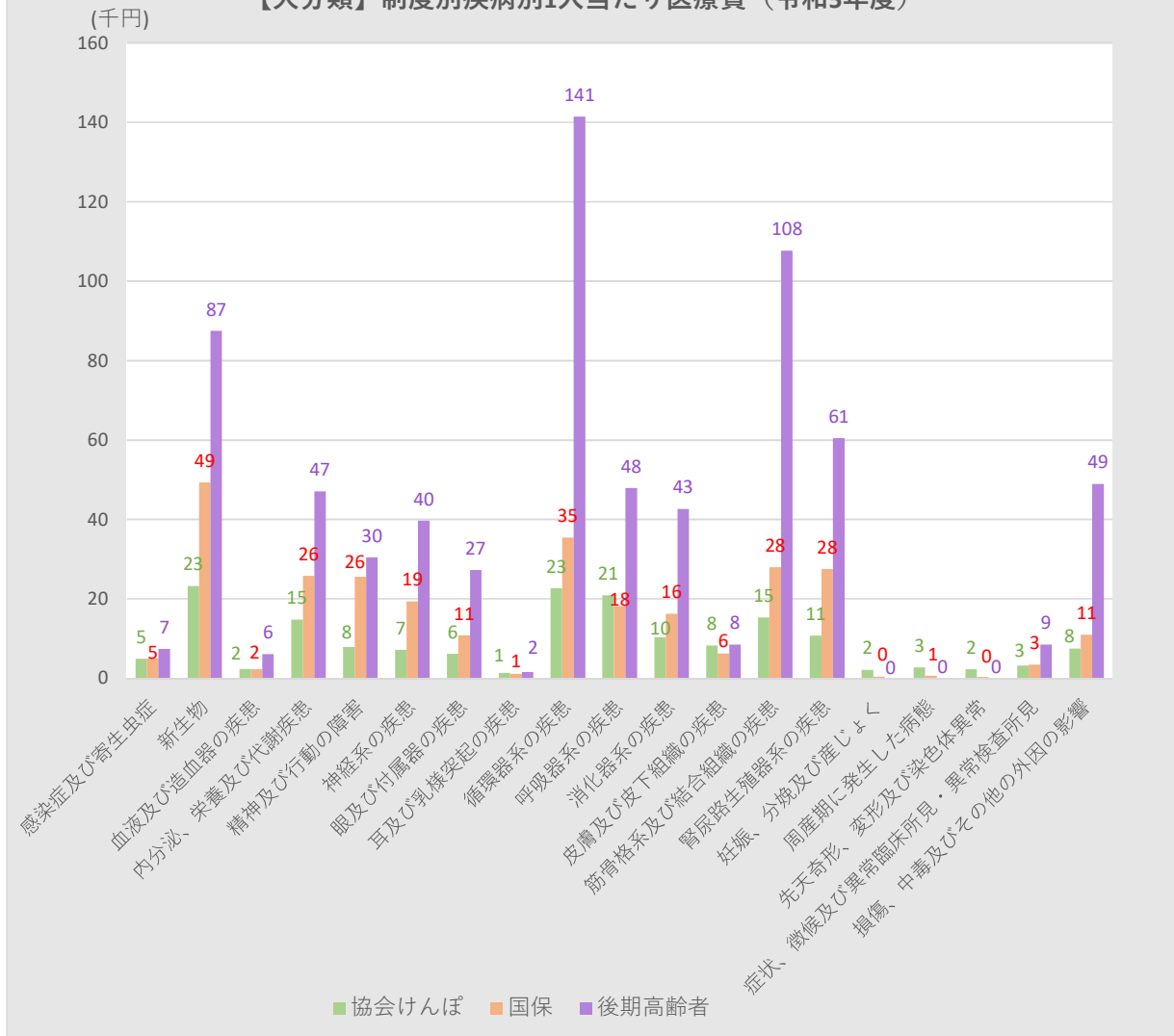
4 疾病別医療費

(1) 制度別疾病別医療費割合・1人当たり医療費（大分類）

疾病別医療費割合、1人当たり医療費ともに、後期高齢者では循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患、新生物の順に高く、国保では新生物、循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患の順に高い。また、協会けんぽでは新生物、循環器系の疾患、呼吸器系の疾患の順に高い。



【大分類】制度別疾病別1人当たり医療費（令和5年度）



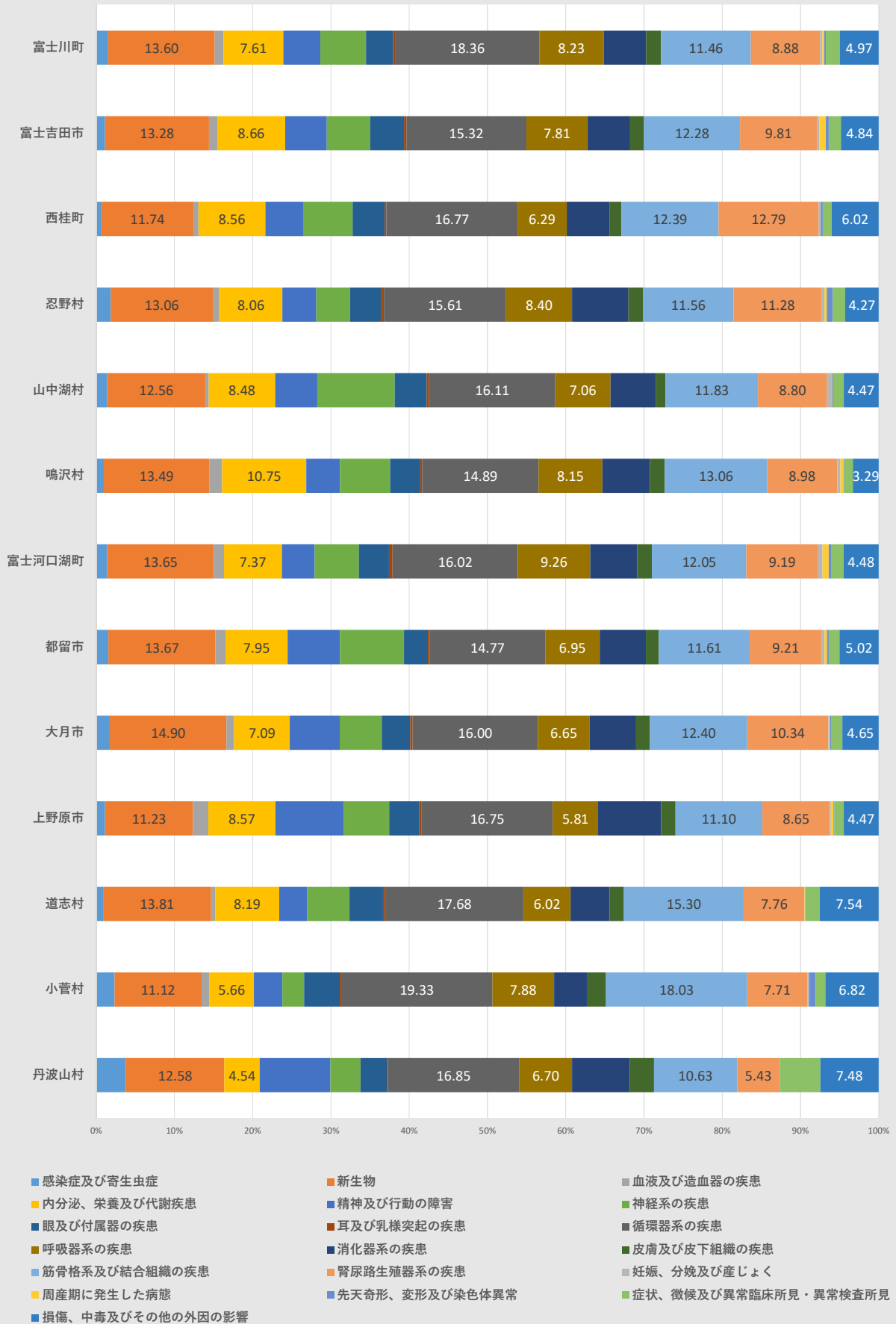
【大分類】制度別疾病別1人当たり医療費の順位

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
制度合計	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
協会けんぽ	新生物	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響
国保	新生物	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
後期高齢者	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害

(2) 市町村別疾病別医療費（大分類）



市町村別疾病別医療費の割合（令和5年度）



【大分類】市町村別疾病別医療費の順位

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
甲府市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害	神経系の疾患
甲斐市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響
中央市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響	神経系の疾患
昭和町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害	神経系の疾患
韭崎市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	精神及び行動の障害
南アルプス市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	神経系の疾患	精神及び行動の障害
北杜市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
山梨市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患
笛吹市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患
甲州市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	呼吸器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害	消化器系の疾患

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
早川町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	精神及び行動の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	眼及び付属器の疾患
身延町	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
南部町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害
市川三郷町	循環器系の疾患	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
富士川町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害
富士吉田市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	神経系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響
西桂町	循環器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	精神及び行動の障害
忍野村	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
山中湖村	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	神経系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響
鳴沢村	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	神経系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	眼及び付属器の疾患

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
富士河口湖町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害
都留市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	神経系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	精神及び行動の障害	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
大月市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	精神及び行動の障害	消化器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
上野原市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	精神及び行動の障害	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
道志村	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	呼吸器系の疾患	神経系の疾患	消化器系の疾患	眼及び付属器の疾患
小菅村	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	内分泌、栄養及び代謝疾患	眼及び付属器の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害
丹波山村	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	内分泌、栄養及び代謝疾患
市町村計	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響

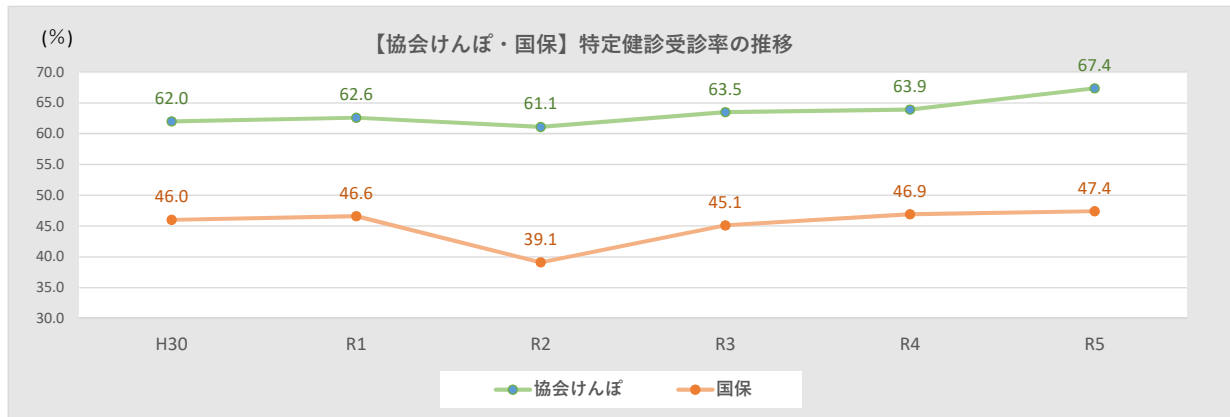
協会けんぽ、国保、後期高齢者を合計した医療費を市町村別疾病別にみると、第1位は全ての市町村が循環器系の疾患で、第2位は23市町村で新生物、第3位は23市町村で筋骨格系及び結合組織の疾患であった。

Ⅱ 特定健康診査(協会けんぽ・国保)

1 受診率

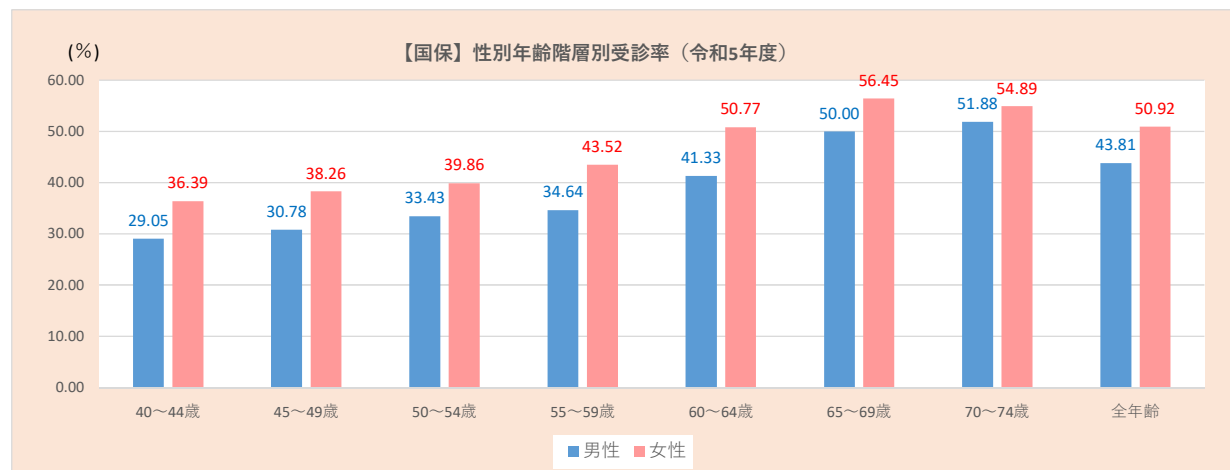
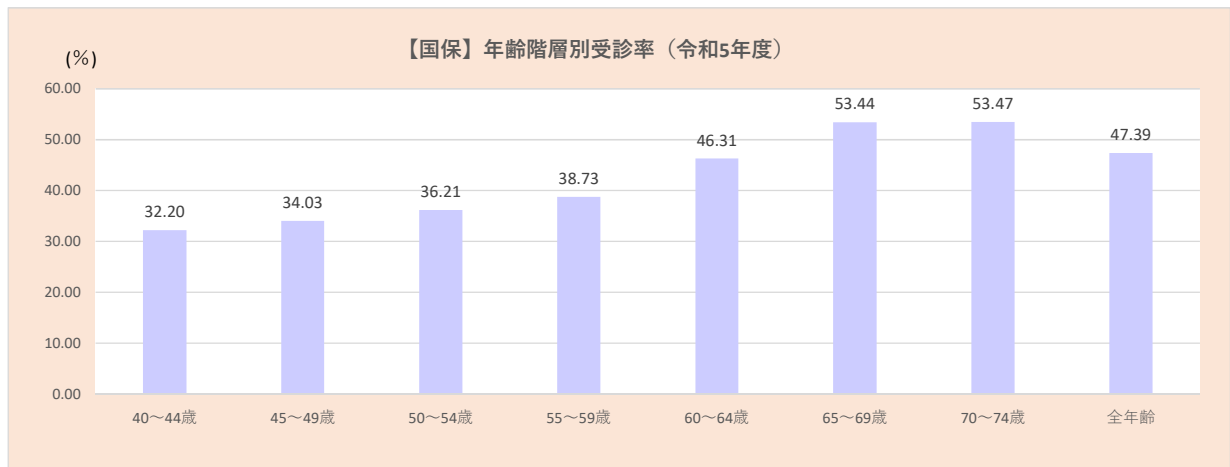
(1) 制度別受診率の推移

特定健診の受診率は、協会けんぽ、国保ともに、令和2年度に新型コロナウイルス感染症流行の影響により、一旦、減少したが、令和3年度、令和4年度には流行以前の受診率を上回り、令和5年度は、協会けんぽが67.4%、国保が47.4%で、さらに増加している。



(2) 【国保】年齢階層別性別受診率

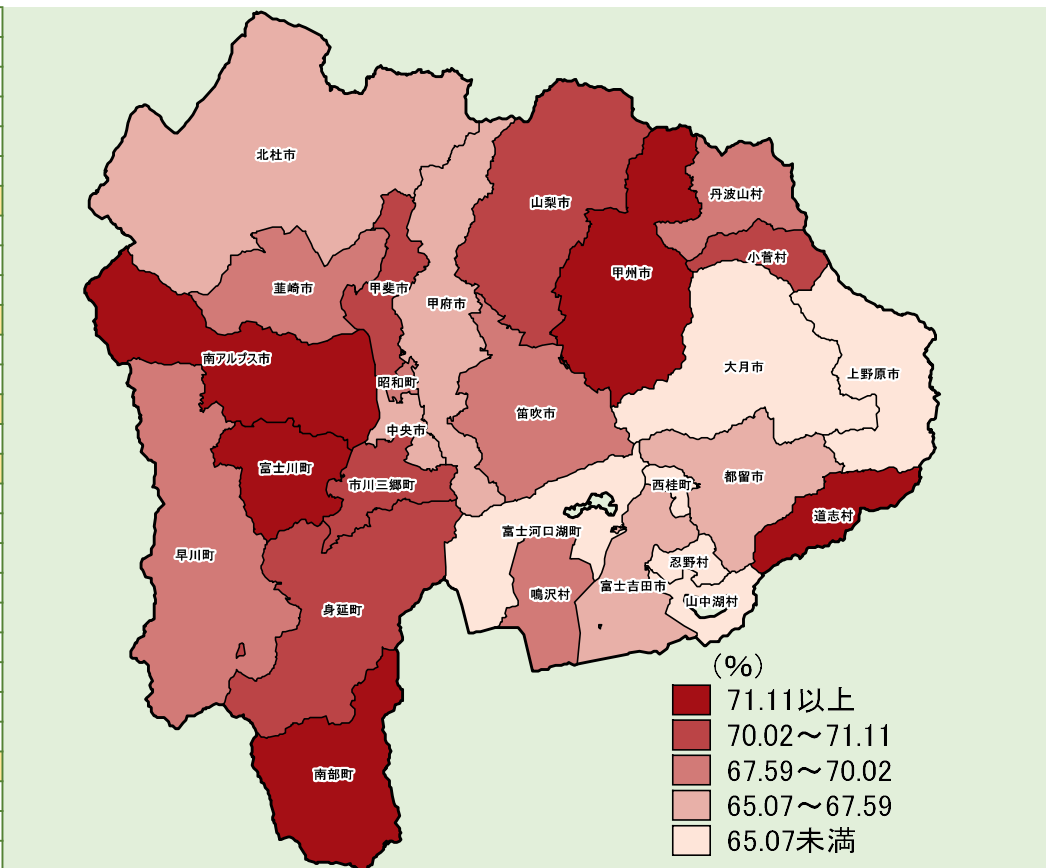
国保の特定健診受診率を年齢階層別にみると、40～44歳が最も低く、年齢が上がるとともに高くなり、70～74歳が最も高い。また、男女別にみると、全年齢階層で男性より女性の方が受診率が高く、男性は70～74歳が最も高く、女性は65～69歳が最も高い。



(3) 市町村別制度別受診率

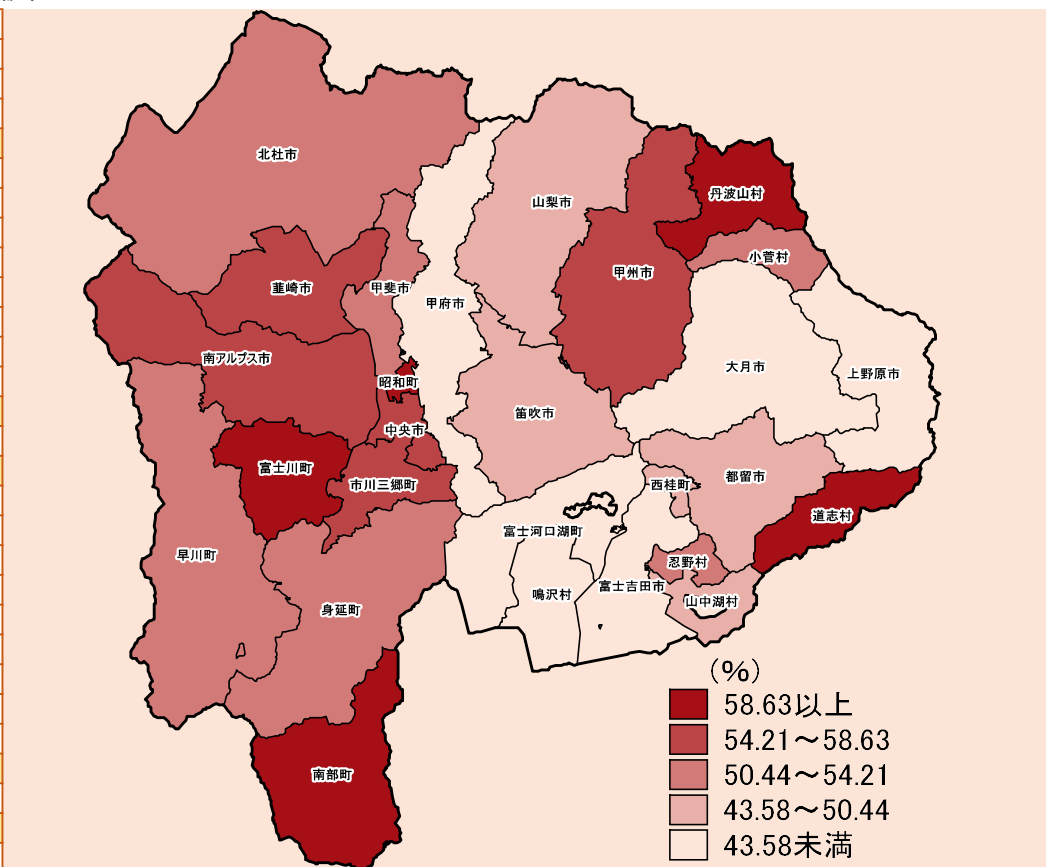
【協会けんぽ】市町村別受診率

市町村名	(%)
甲府市	65.07
甲斐市	70.42
中央市	65.71
昭和町	68.57
韭崎市	69.01
南アルプス市	72.42
北杜市	65.65
山梨市	70.02
笛吹市	67.71
甲州市	71.11
早川町	69.12
身延町	70.93
南部町	74.39
市川三郷町	70.24
富士川町	72.56
富士吉田市	65.33
西桂町	64.72
忍野村	60.44
山中湖村	55.17
鳴沢村	67.59
富士河口湖町	64.61
都留市	66.66
大月市	62.79
上野原市	61.87
道志村	75.41
小菅村	70.41
丹波山村	69.01
合計	67.37

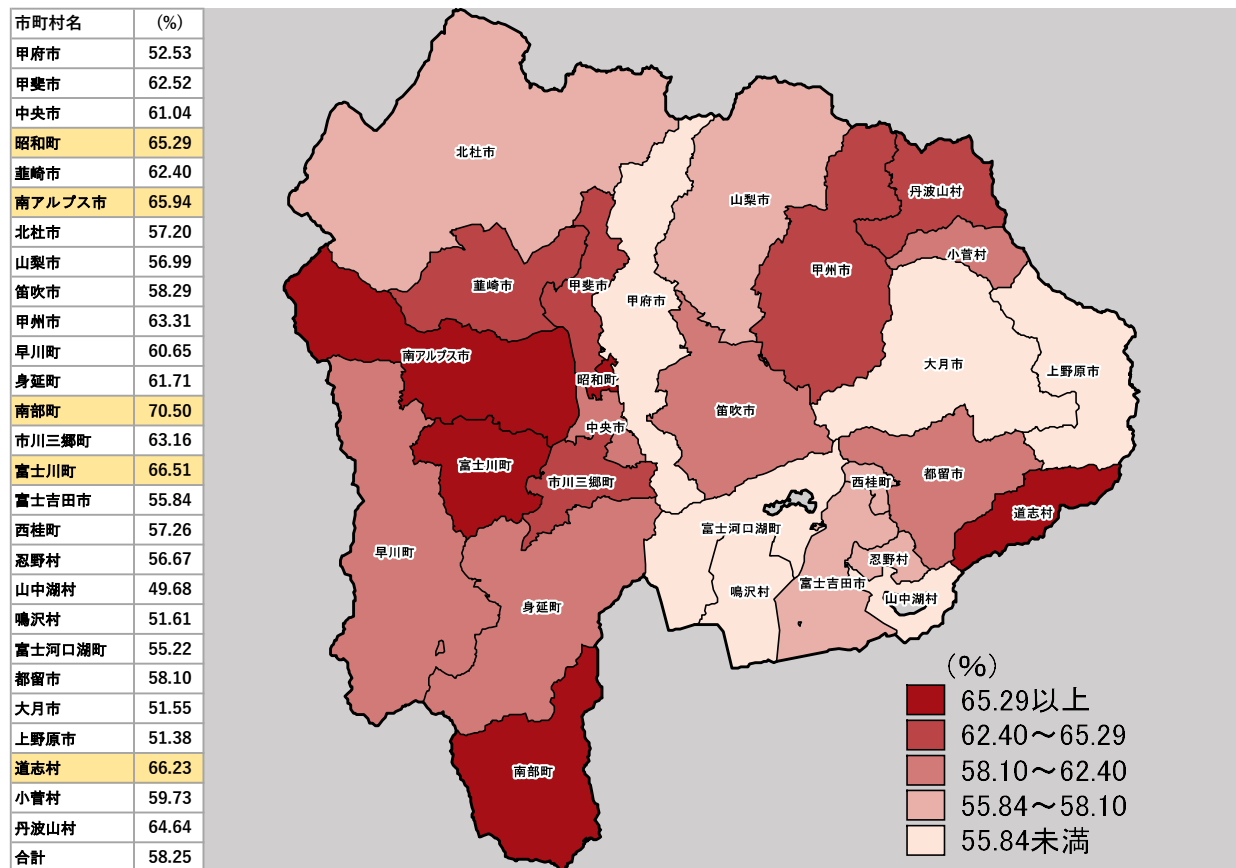


【国保】市町村別受診率

市町村名	(%)
甲府市	36.66
甲斐市	52.11
中央市	54.21
昭和町	60.04
韭崎市	54.75
南アルプス市	57.88
北杜市	50.44
山梨市	43.58
笛吹市	47.10
甲州市	56.54
早川町	52.48
身延町	52.95
南部町	66.47
市川三郷町	55.94
富士川町	58.63
富士吉田市	41.83
西桂町	45.77
忍野村	50.68
山中湖村	44.34
鳴沢村	37.80
富士河口湖町	41.98
都留市	45.96
大月市	39.63
上野原市	41.14
道志村	58.64
小菅村	51.56
丹波山村	61.82
合計	47.39



【協会けんぽ+国保】市町村別受診率



市町村別の特定健診受診率をみると、協会けんぽでは、道志村、南部町、富士川町、南アルプス市、甲州市の順に高く、国保では、南部町、丹波山村、昭和町、道志村、富士川町の順に高い。受診率の高い市町村も低い市町村も、協会けんぽ、国保でほぼ同様の傾向が見られる。

2 メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合

<メタボリックシンドローム該当者及び予備群の判定基準>

腹囲	男性 \geq 85cm、女性 \geq 90cm (内臓脂肪面積男女ともに \geq 100センチ cm^2)
※腹囲に以下の基準を2項目以上該当:該当者、1項目該当:予備群	
脂質	中性脂肪 \geq 150mg/dl かつ/又は HDLコレステロール $<$ 40mg/dl
血圧	収縮期 \geq 130mmHg かつ/又は 拡張期 \geq 85mmHg
血糖	空腹時血糖 \geq 110mg/dl かつ/又は HbA1c \geq 6.0%

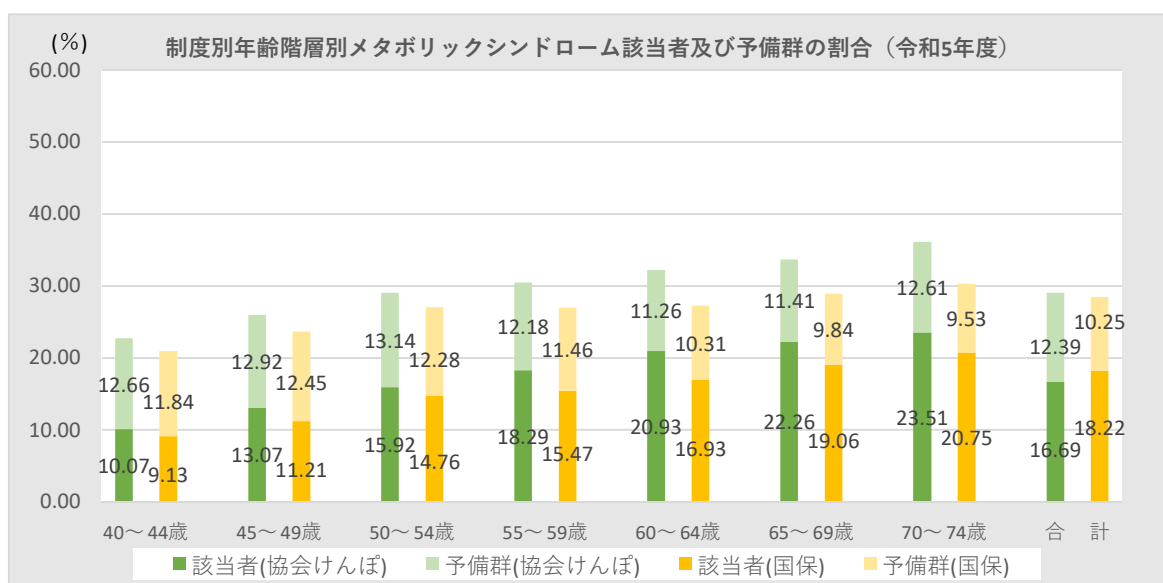
制度別にメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合をみると、全ての年齢階層で国保に比べて協会けんぽの割合がやや高い。男女別にみると、50歳以上の男性は協会けんぽ、国保ともに4割以上がメタボリックシンドローム該当者及び予備群で、女性の約3～4倍高い。

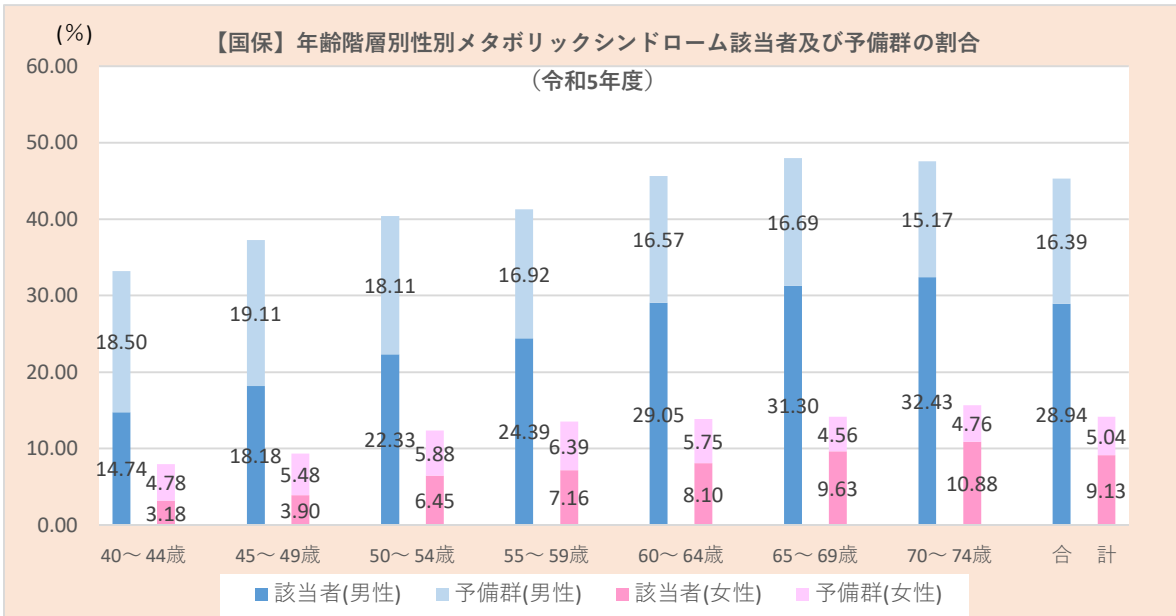
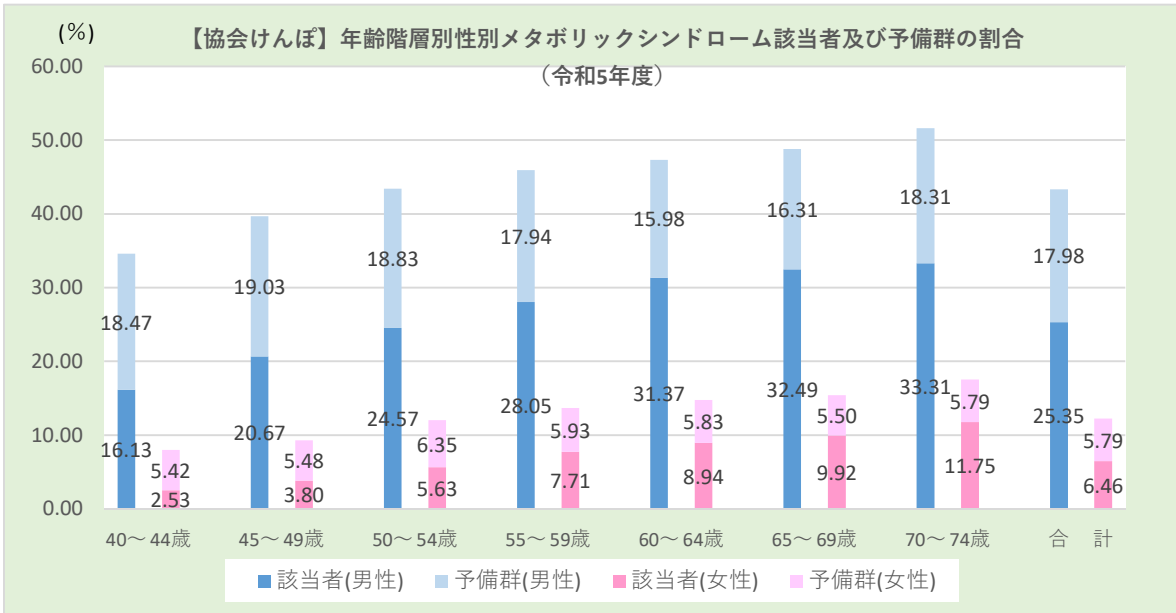
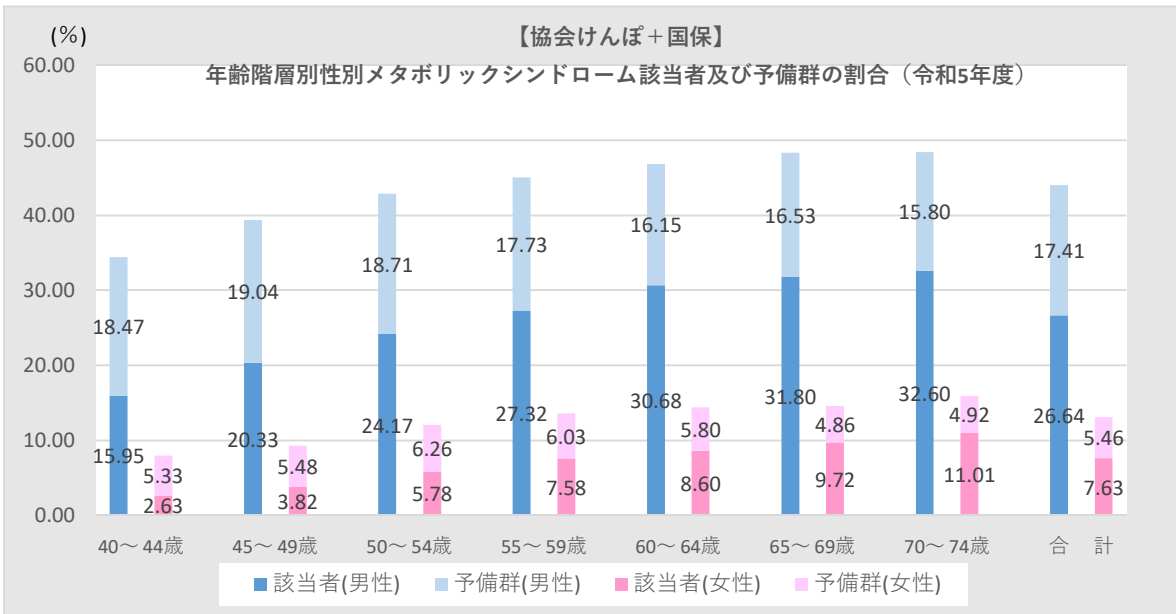
【協会けんぽ】年齢階層別メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合（男女合計）

年齢階層	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計	
対象者(人)	12,965	15,700	16,688	14,903	12,154	8,386	4,828	85,624	
人数(人)	該当者	1,306	2,052	2,657	2,726	2,544	1,867	14,287	
	予備群	1,641	2,029	2,192	1,815	1,368	957	10,611	
	計	2,947	4,081	4,849	4,541	3,912	2,824	1,744	24,898
割合(%)	該当者	10.07	13.07	15.92	18.29	20.93	22.26	23.51	16.69
	予備群	12.66	12.92	13.14	12.18	11.26	11.41	12.61	12.39
	計	22.73	25.99	29.06	30.47	32.19	33.68	36.12	29.08

【国保】年齢階層別メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合（男女合計）

年齢階層	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計	
対象者(人)	2,070	2,730	3,712	4,021	6,556	14,611	22,785	56,485	
人数(人)	該当者	189	306	548	622	1,110	2,785	4,729	10,289
	予備群	245	340	456	461	676	1,438	2,172	5,788
	計	434	646	1,004	1,083	1,786	4,223	6,901	16,077
割合(%)	該当者	9.13	11.21	14.76	15.47	16.93	19.06	20.75	18.22
	予備群	11.84	12.45	12.28	11.46	10.31	9.84	9.53	10.25
	計	20.97	23.66	27.05	26.93	27.24	28.90	30.29	28.46





3 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（肥満リスク）

＜肥満リスクありの判定基準＞

下記のいずれかを満たす健診受診者

- ①内臓脂肪面積 $\geq 100\text{cm}^2$
- ②腹囲 男性85cm以上、女性90cm以上
- ③BMI ≥ 25

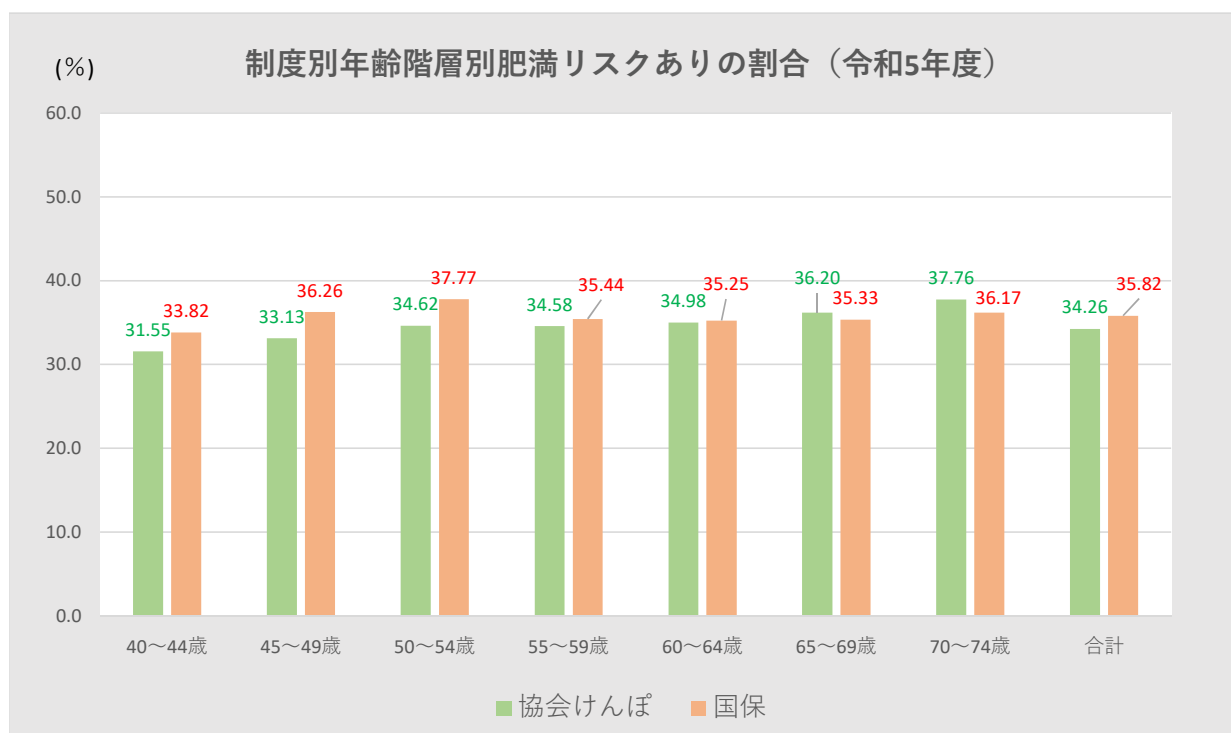
制度別に肥満リスク割合をみると、60～64歳以下は協会けんぽに比べて国保の割合が高く、65～69歳以上は協会けんぽの割合がやや高い。男女別にみると、男性は協会けんぽ、国保ともに5割前後に肥満リスクがあり、女性の約2～3倍高い。また、国保の女性は協会けんぽの女性に比べて全ての年齢階層で肥満リスク割合が高い。

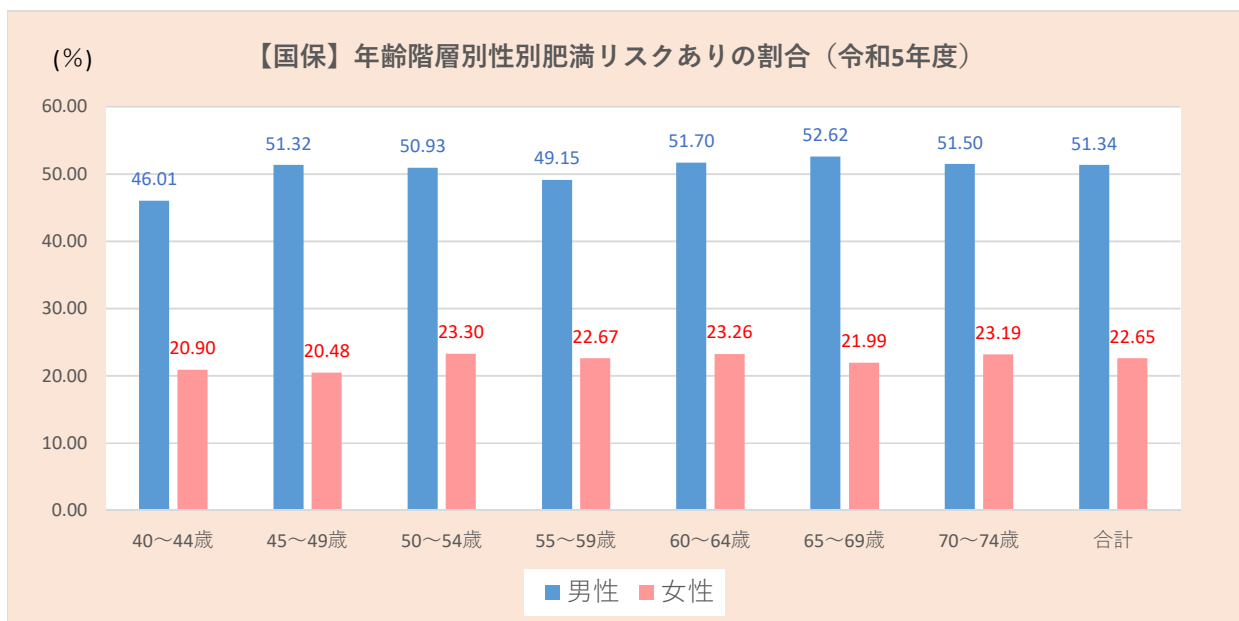
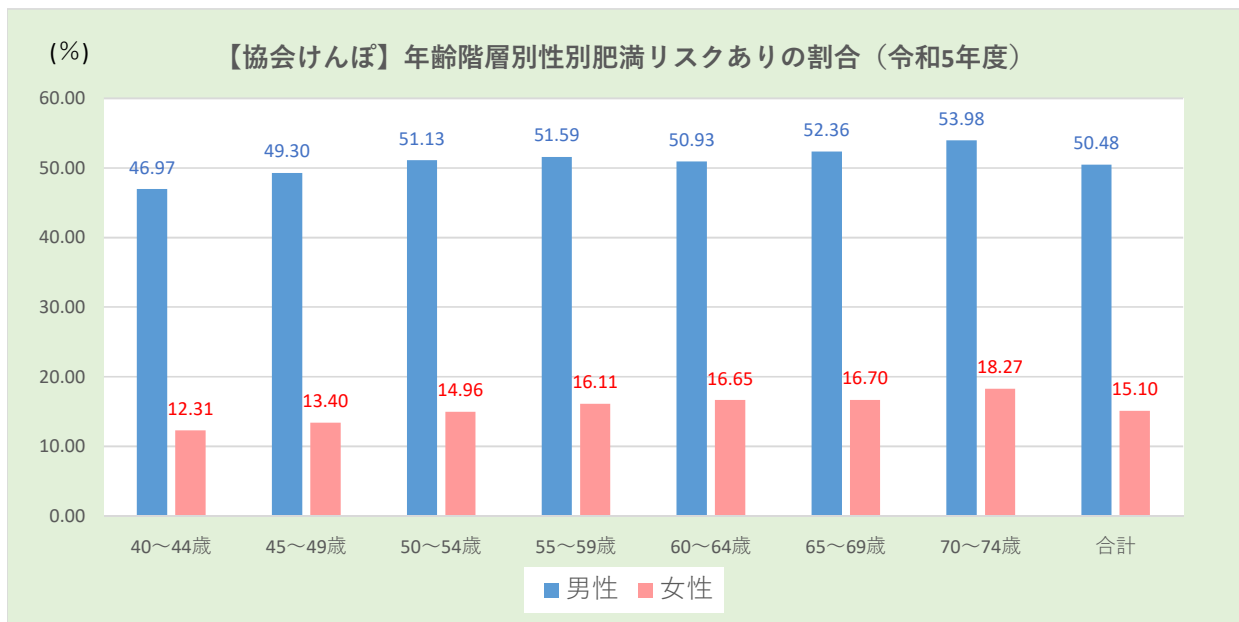
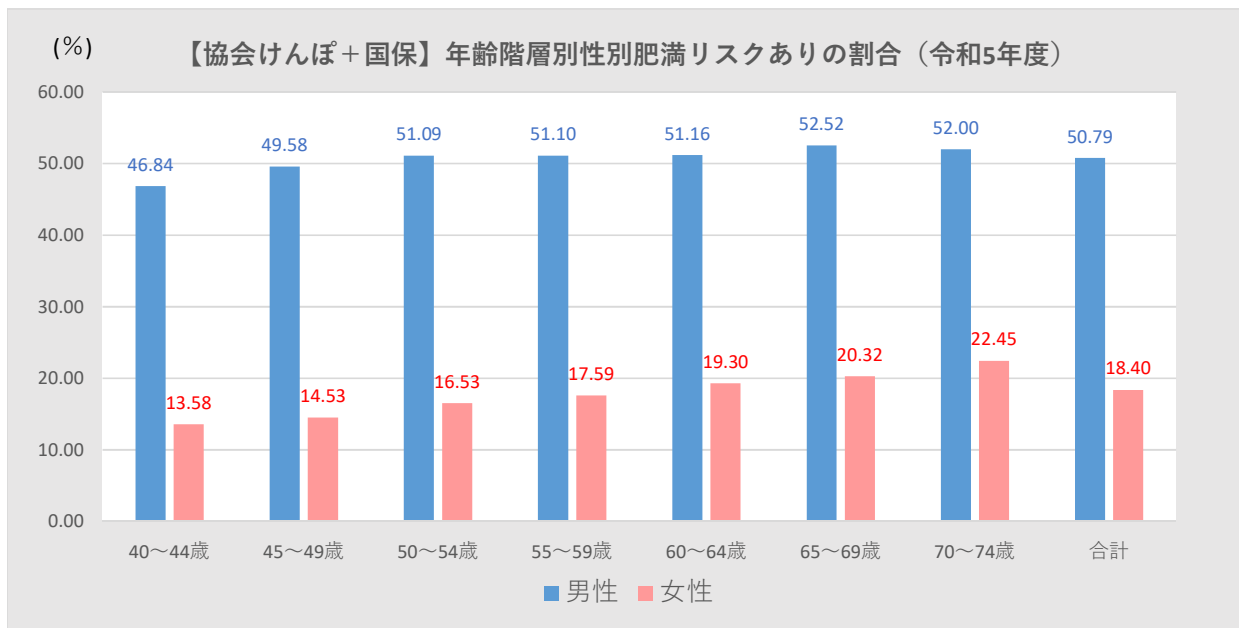
【協会けんぽ】年齢階層別肥満リスクありの人数、割合（男女合計）

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,978	15,719	16,702	14,909	12,163	8,394	4,831	85,696
該当者(人)	4,094	5,208	5,783	5,155	4,255	3,039	1,824	29,358
割合(%)	31.55	33.13	34.62	34.58	34.98	36.20	37.76	34.26

【国保】年齢階層別肥満リスクありの人数、割合（男女合計）

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,070	2,730	3,712	4,021	6,556	14,611	22,785	56,485
該当者(人)	700	990	1,402	1,425	2,311	5,162	8,241	20,231
割合(%)	33.82	36.26	37.77	35.44	35.25	35.33	36.17	35.82





4 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血压リスク）

〈血压リスクありの判定基準〉

下記のいずれかを満たす健診受診者

- ①収縮期血压 $\geq 130\text{mmHg}$
- ②拡張期血压 $\geq 85\text{mmHg}$
- ③血压:服薬あり

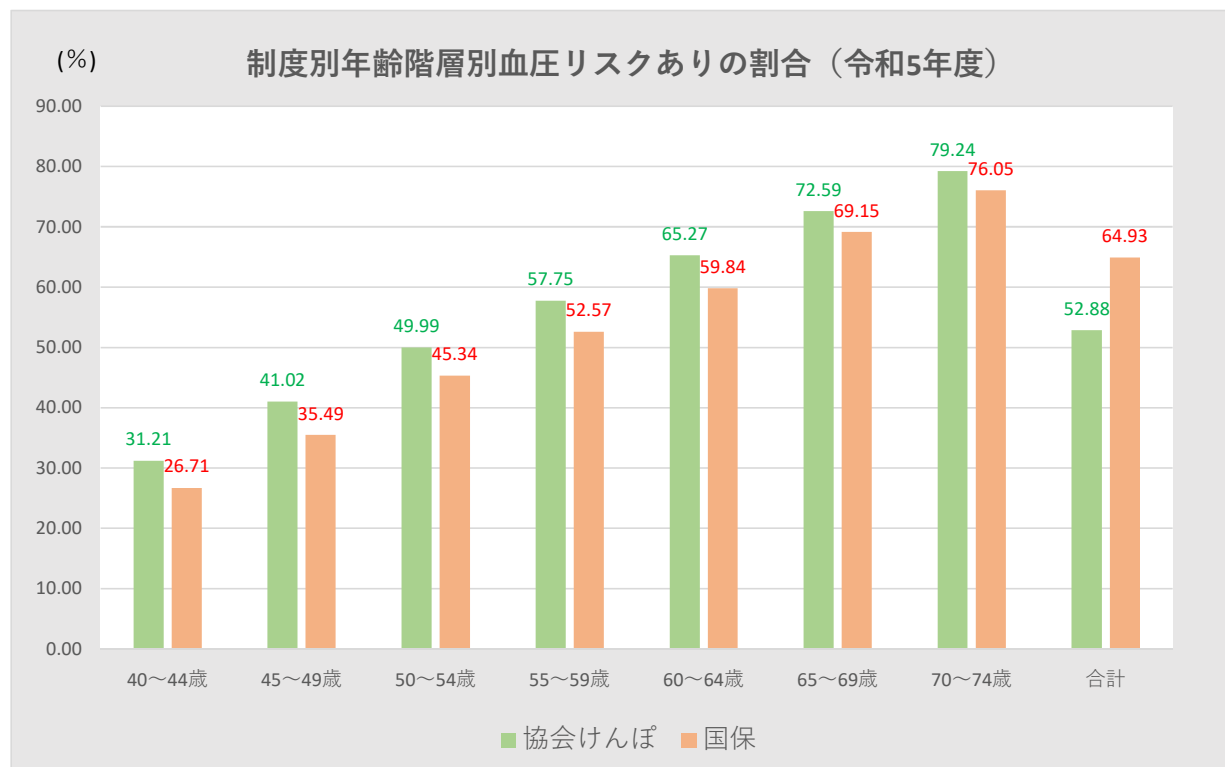
制度別に血压リスク割合をみると、合計では年齢の高い被保険者が多い国保が協会けんぽより高いが、年齢階層別にみると、全ての年齢階層で男女ともに協会けんぽが高い。特に、協会けんぽでは、若い世代の40～44歳で男性の4割、女性の2割、45～49歳で男性の5割、女性の3割に血压リスクがある。また、男女別にみると、協会けんぽ、国保ともに女性に比べて男性のリスク割合が高い。

【協会けんぽ】年齢階層別血压リスクありの人数、割合（男女合計）

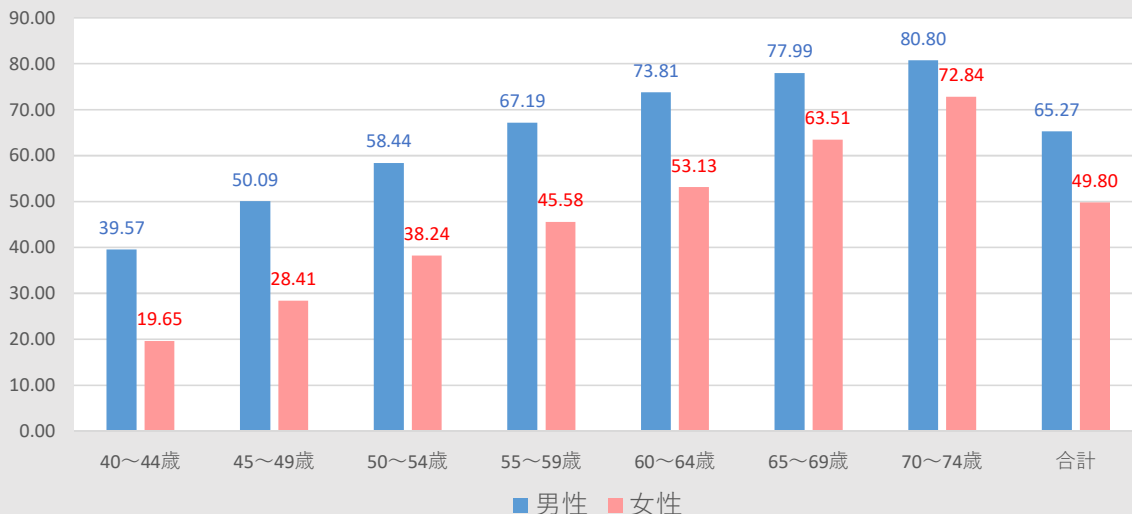
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,978	15,719	16,702	14,909	12,163	8,394	4,831	85,696
該当者(人)	4,051	6,448	8,350	8,610	7,939	6,093	3,828	45,319
割合(%)	31.21	41.02	49.99	57.75	65.27	72.59	79.24	52.88

【国保】年齢階層別血压リスクありの人数、割合（男女合計）

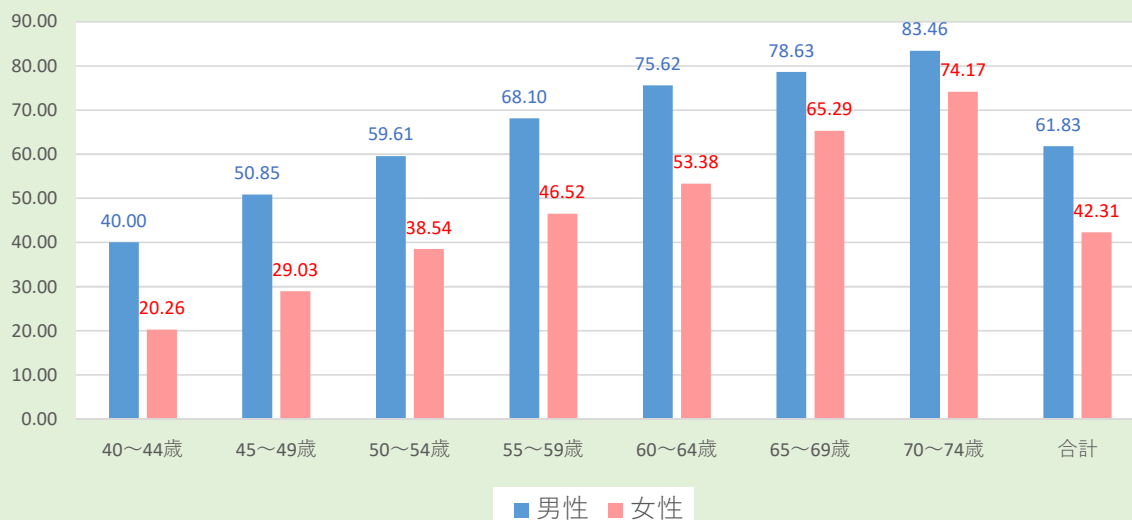
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,070	2,730	3,712	4,021	6,556	14,611	22,785	56,485
該当者(人)	553	969	1,683	2,114	3,923	10,103	17,329	36,674
割合(%)	26.71	35.49	45.34	52.57	59.84	69.15	76.05	64.93



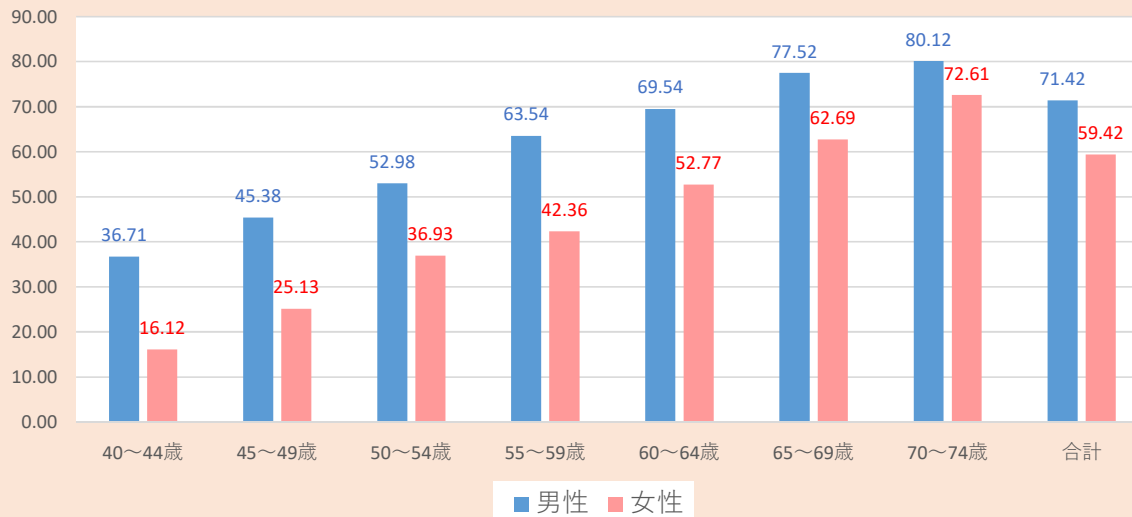
(%) 【協会けんぽ+国保】年齢階層別性別血圧リスクありの割合（令和5年度）



(%) 【協会けんぽ】年齢階層別性別血圧リスクありの割合（令和5年度）



(%) 【国保】年齢階層別性別血圧リスクありの割合（令和5年度）



5 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血糖リスク）

〈血糖リスクありの判定基準〉

下記のいずれかを満たす健診受診者

- ①空腹時血糖 \geq 100mg/dl
- ②HbA1c \geq 5.6%
- ③血糖：服薬あり

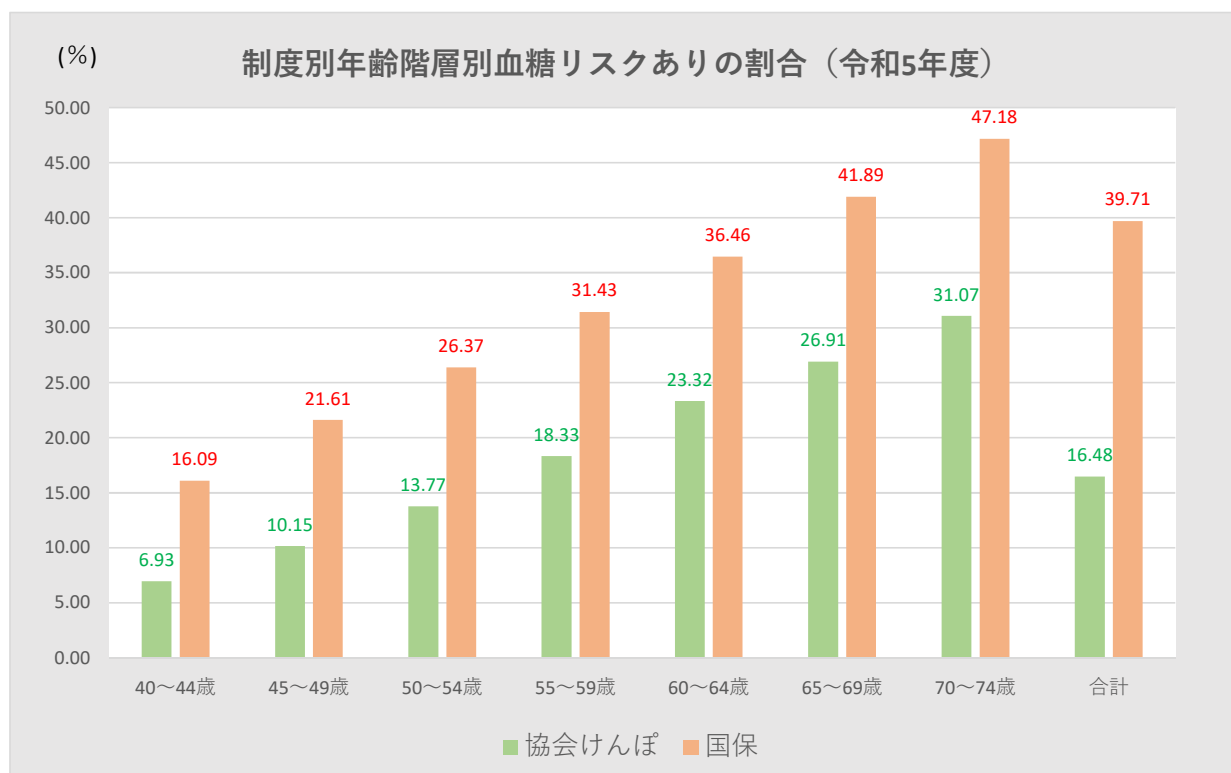
血糖リスク割合をみると、協会けんぽ、国保ともに全ての年齢階層で女性に比べて男性の血糖リスク割合が高い。また、国保は協会けんぽに比べて全ての年齢階層で高く、男性は約2倍、女性は約3倍高い。

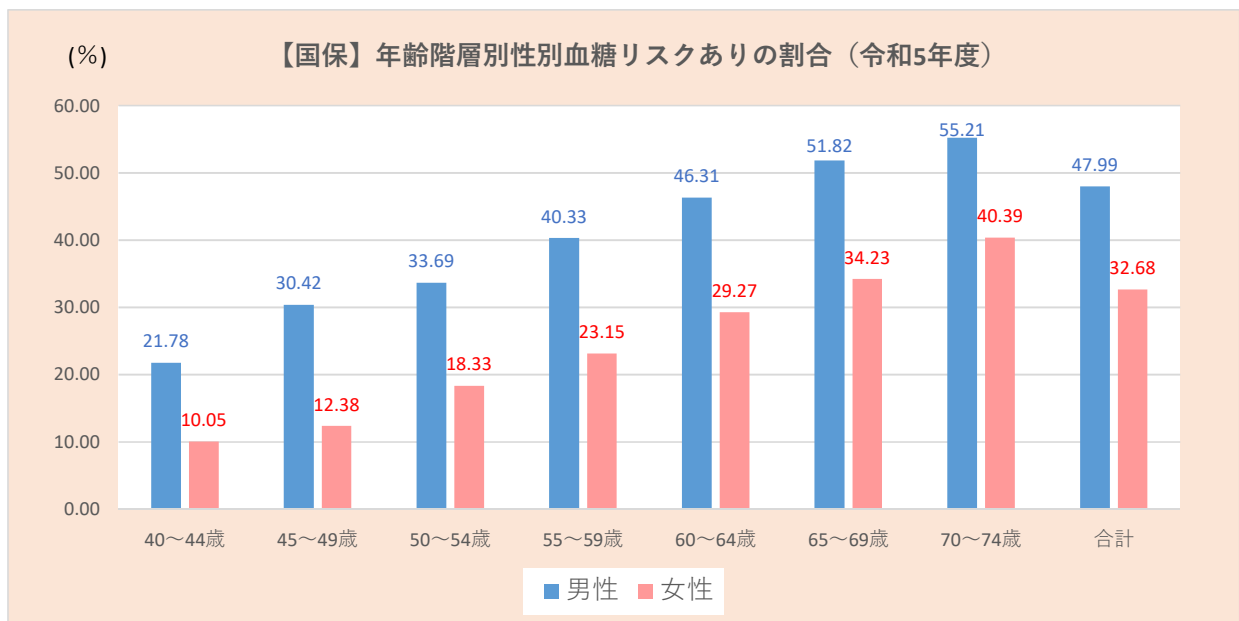
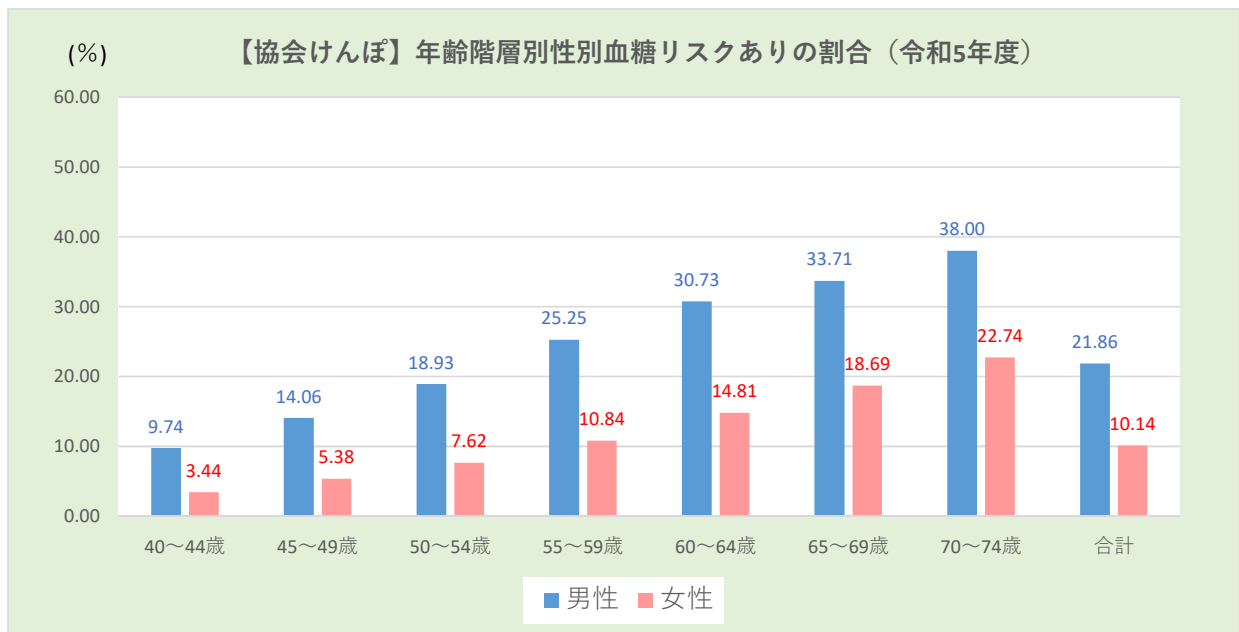
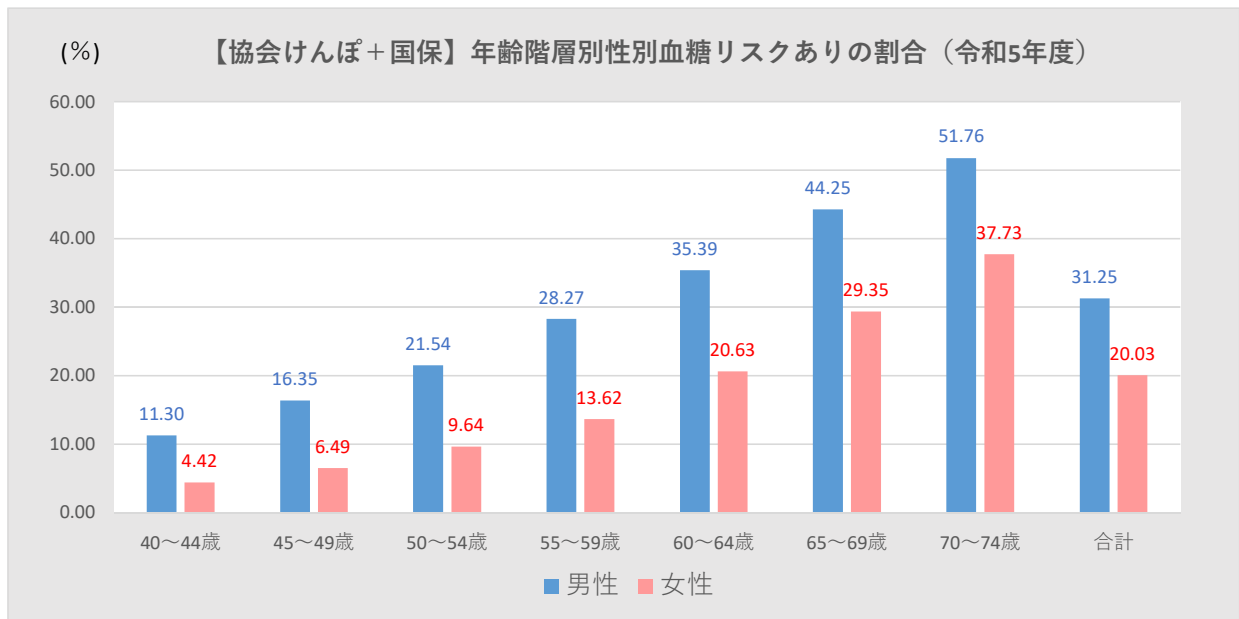
【協会けんぽ】年齢階層別血糖リスクありの人数、割合（男女合計）

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,920	15,622	16,634	14,847	12,102	8,347	4,812	85,284
該当者(人)	896	1,586	2,290	2,722	2,822	2,246	1,495	14,057
割合(%)	6.93	10.15	13.77	18.33	23.32	26.91	31.07	16.48

【国保】年齢階層別血糖リスクありの人数、割合（男女合計）

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,070	2,730	3,712	4,021	6,556	14,611	22,785	56,485
該当者(人)	333	590	979	1,264	2,390	6,121	10,751	22,428
割合(%)	16.09	21.61	26.37	31.43	36.46	41.89	47.18	39.71





6 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（脂質リスク）

〈脂質リスクありの判定基準〉

下記のいずれかを満たす健診受診者

- ①中性脂肪 \geq 150mg/dl
- ②HDL $<$ 40mg/dl
- ③脂質：服薬あり

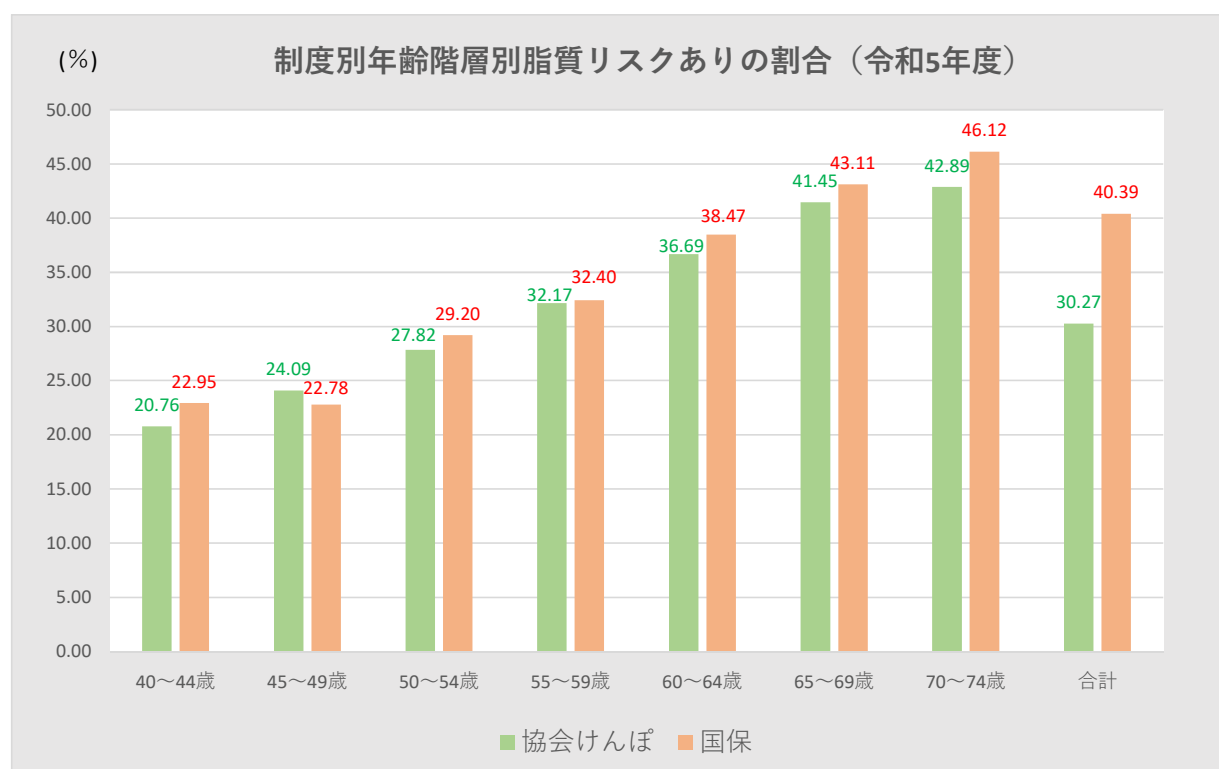
脂質リスク割合を年齢階層別にみると、国保は協会けんぽに比べてやや高く、男女別にみても国保がやや高い。また、協会けんぽ、国保ともに、女性より男性が高く、特に、40歳代男性では女性の約3倍以上脂質リスク割合が高い。

【協会けんぽ】年齢階層別脂質リスクありの人数、割合（男女合計）

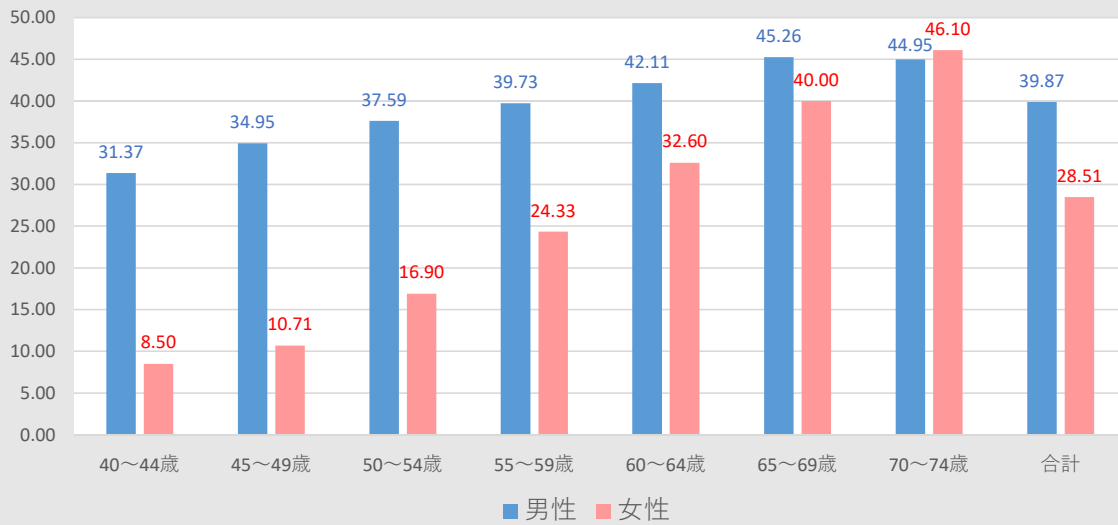
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,977	15,718	16,701	14,908	12,162	8,393	4,831	85,690
該当者(人)	2,694	3,786	4,647	4,796	4,462	3,479	2,072	25,936
割合(%)	20.76	24.09	27.82	32.17	36.69	41.45	42.89	30.27

【国保】年齢階層別脂質リスクありの人数、割合（男女合計）

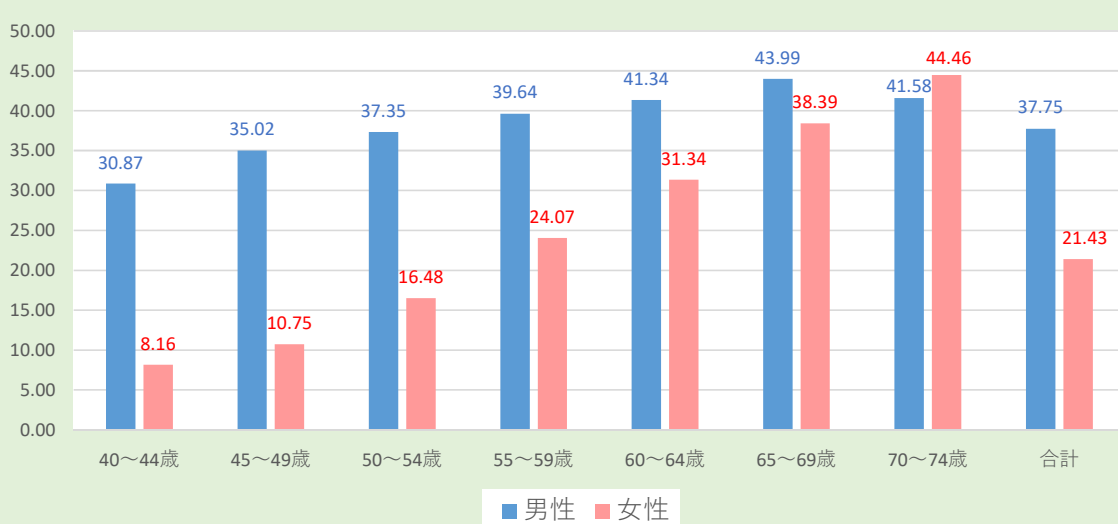
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,070	2,730	3,712	4,021	6,556	14,611	22,785	56,485
該当者(人)	475	622	1,084	1,303	2,522	6,299	10,509	22,814
割合(%)	22.95	22.78	29.20	32.40	38.47	43.11	46.12	40.39



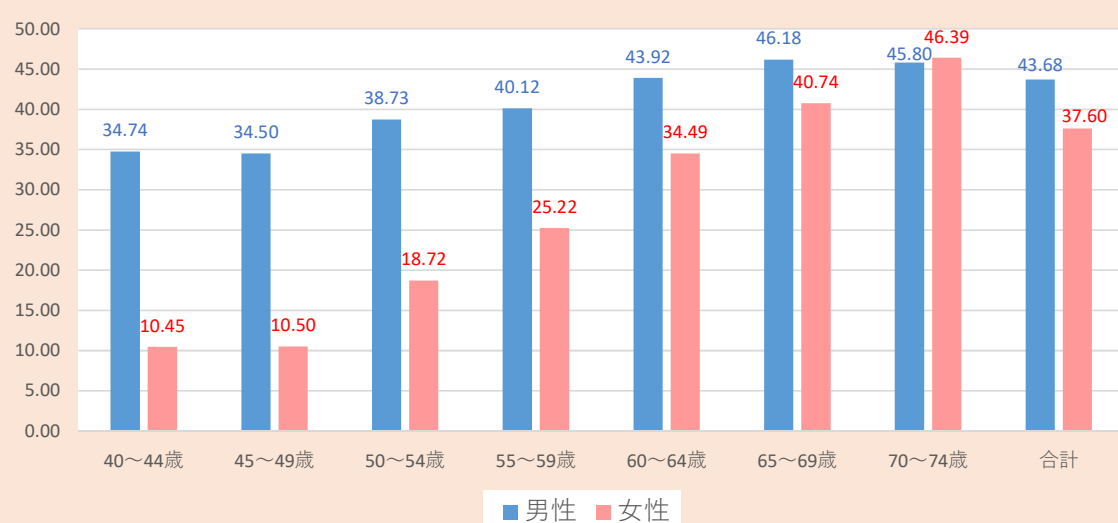
(%) 【協会けんぽ+国保】年齢階層別性別脂質リスクありの割合（令和5年度）



(%) 【協会けんぽ】年齢階層別性別脂質リスクありの割合（令和5年度）



(%) 【国保】年齢階層別性別脂質リスクありの割合（令和5年度）



7 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（喫煙）

〈喫煙ありの判定基準〉

標準的な質問票の質問項目

8 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。

① はい

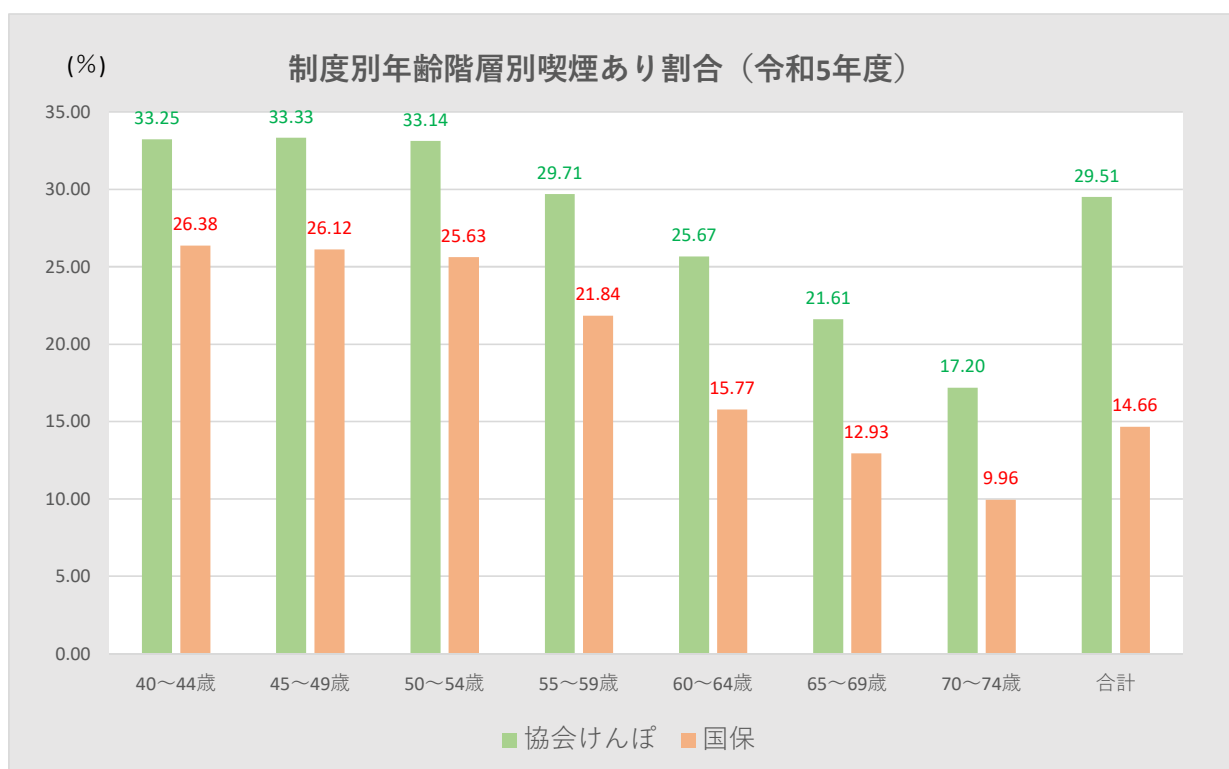
制度別に喫煙ありの割合をみると、協会けんぽは国保より全ての年齢階層で男女ともに高く、合計では国保の約2倍高い。また、男女別にみると、男性は女性の約3倍高く、40歳代男性は、協会けんぽでは約47%、国保では約37%が喫煙しており、年齢とともに喫煙率は減少する。

【協会けんぽ】年齢階層別喫煙ありの人数、割合（男女合計）

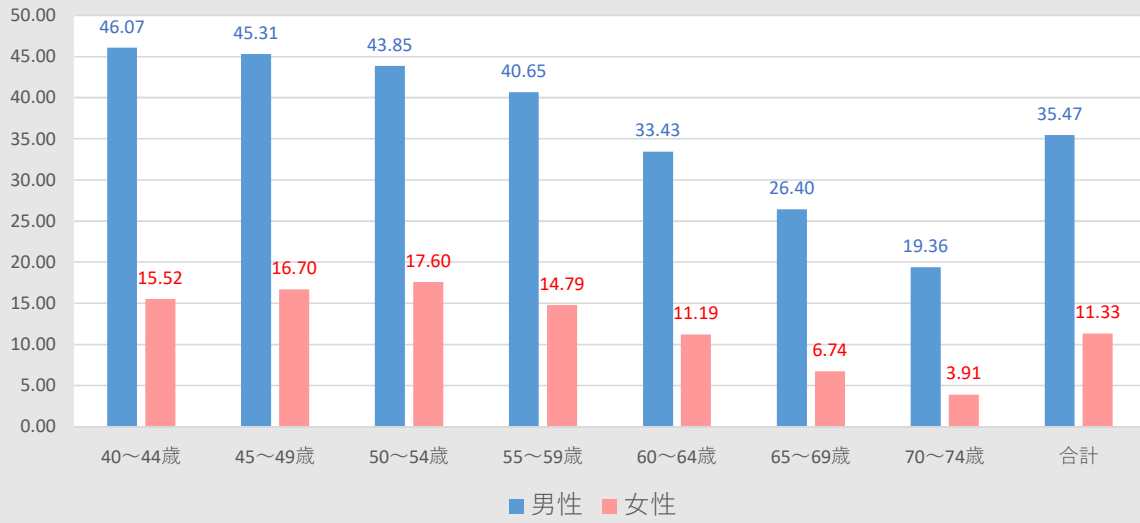
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
回答者(人)	12,978	15,719	16,702	14,909	12,163	8,394	4,831	85,696
該当者(人)	4,315	5,239	5,535	4,429	3,122	1,814	831	25,285
割合(%)	33.25	33.33	33.14	29.71	25.67	21.61	17.20	29.51

【国保】年齢階層別喫煙ありの人数、割合（男女合計）

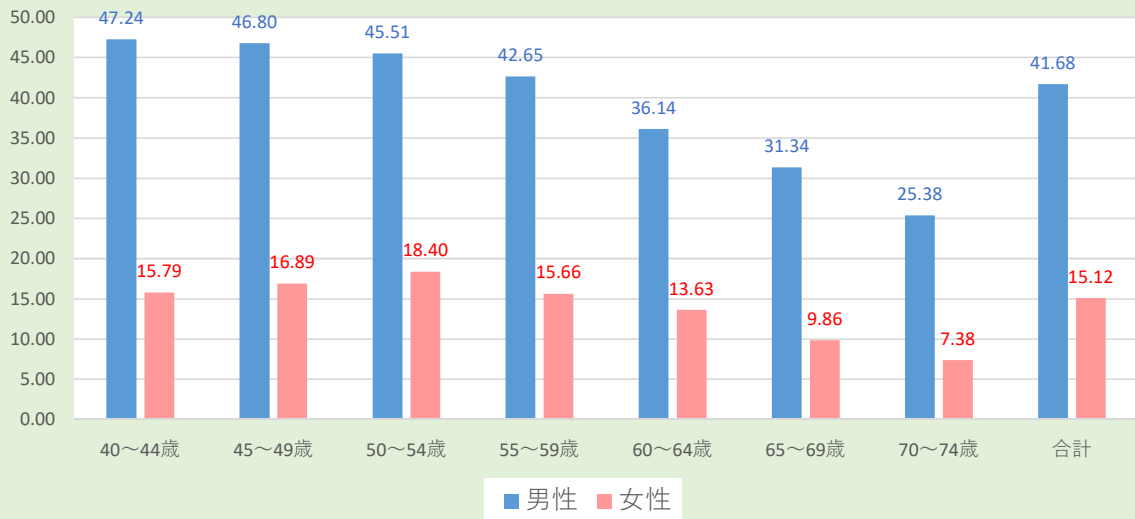
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
回答者(人)	2,070	2,730	3,711	4,021	6,556	14,608	22,783	56,479
該当者(人)	546	713	951	878	1,034	1,889	2,269	8,280
割合(%)	26.38	26.12	25.63	21.84	15.77	12.93	9.96	14.66



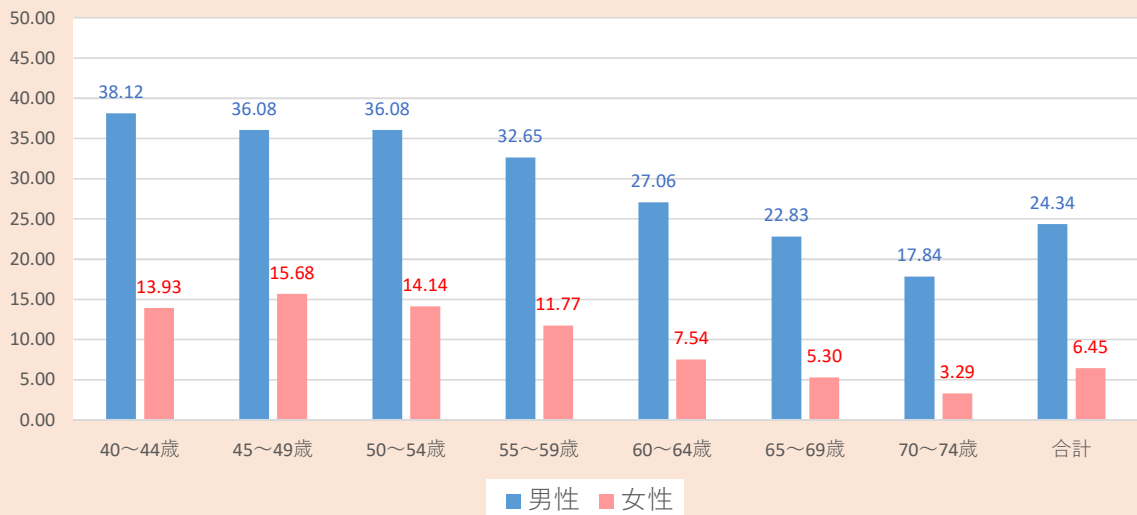
(%) 【協会けんぽ+国保】年齢階層別性別喫煙ありの割合（令和5年度）



(%) 【協会けんぽ】年齢階層別性別喫煙ありの割合（令和5年度）



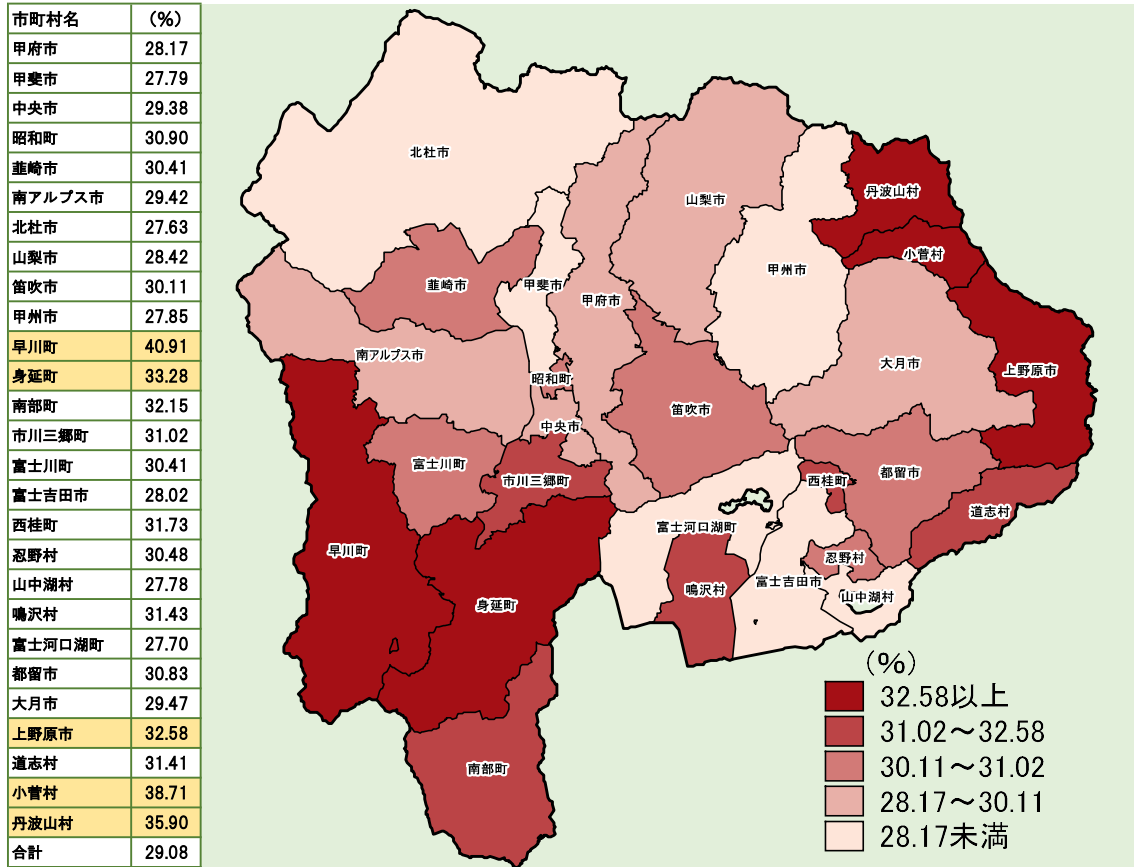
(%) 【国保】年齢階層別性別喫煙ありの割合（令和5年度）



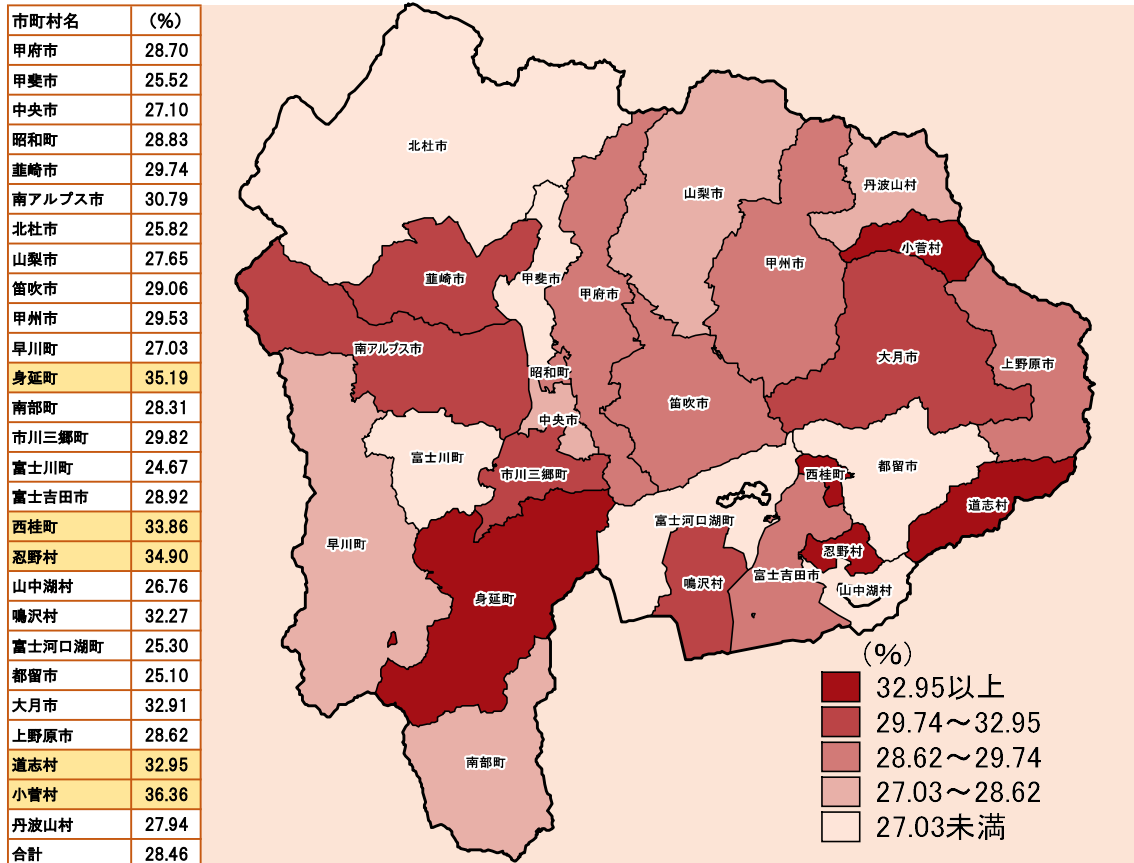
8 市町村別生活習慣病リスク保有者の割合

(1) メタボリックシンドローム該当者・予備群

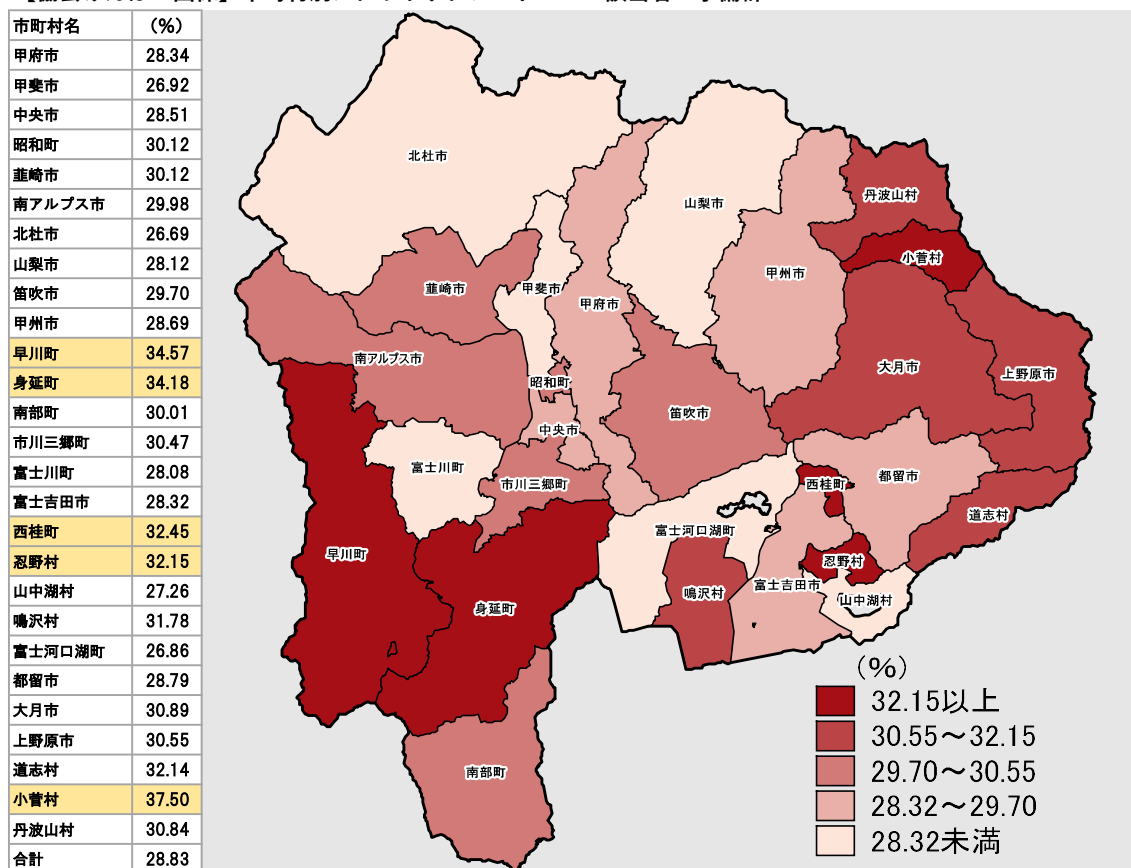
【協会けんぽ】市町村別メタボリックシンドローム該当者・予備群



【国保】市町村別メタボリックシンドローム該当者・予備群



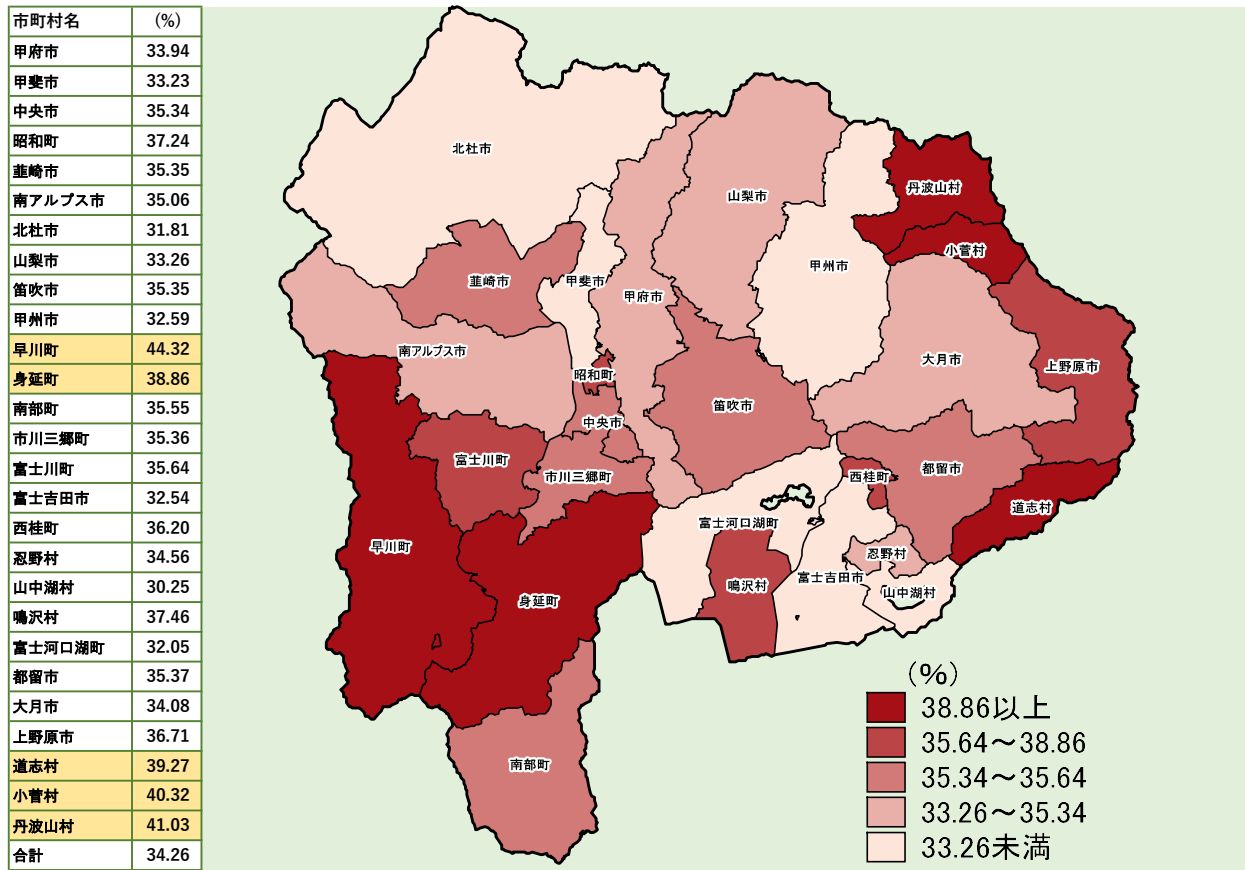
【協会けんぽ+国保】市町村別メタボリックシンドローム該当者・予備群



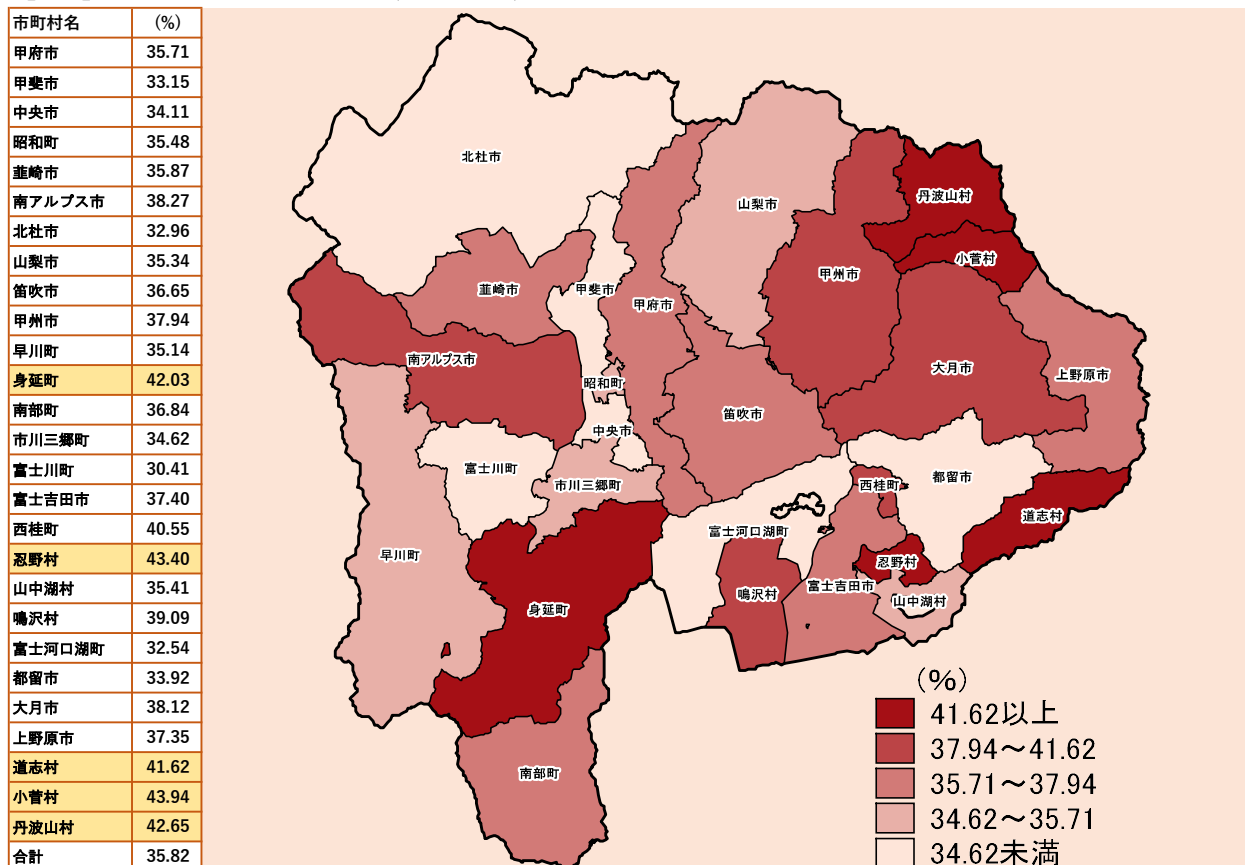
市町村別にメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合をみると、協会けんぽでは、早川町、小菅村、丹波山村、身延町、上野原市の順に高く、国保では、小菅村、身延町、忍野村、西桂町、道志村の順に高い。

(2) 肥満リスク

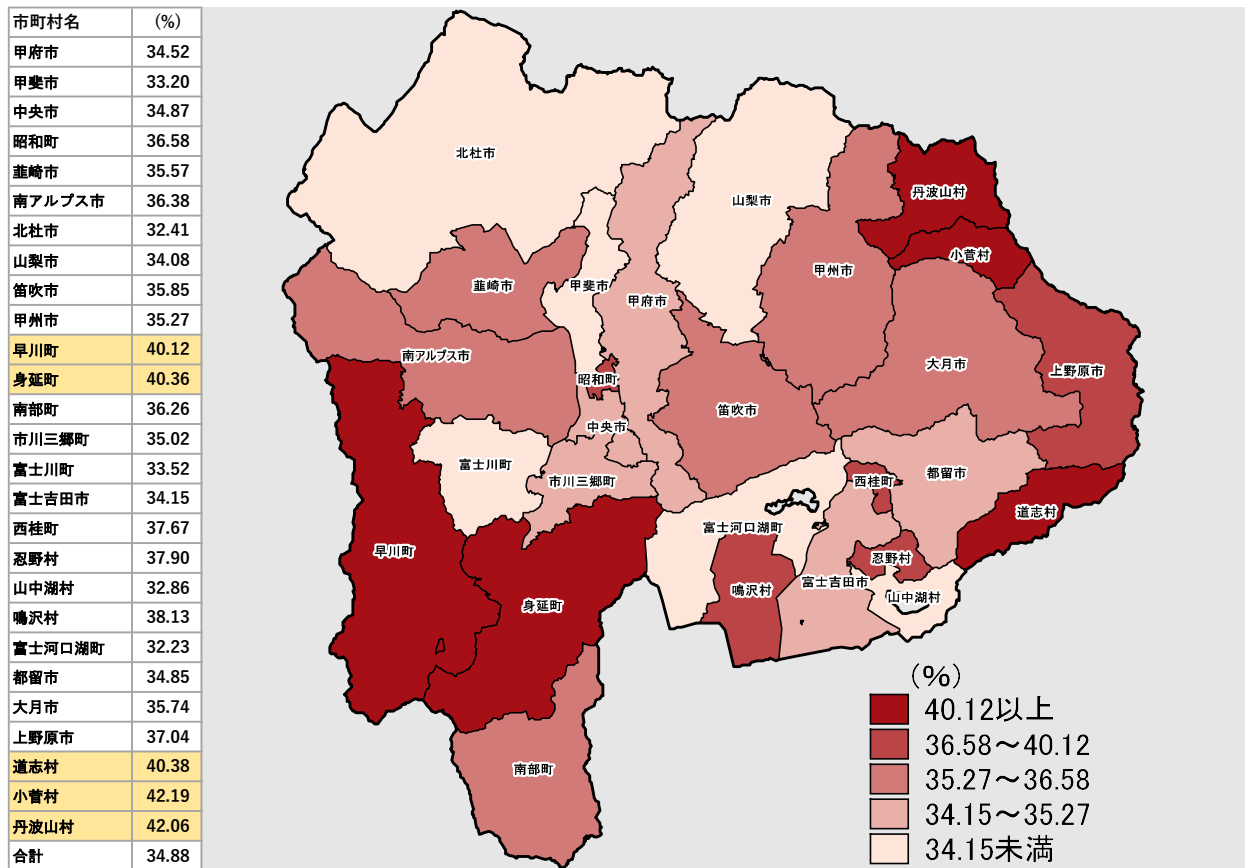
【協会けんぽ】市町村別肥満リスクの割合（令和5年度）



【国保】市町村別肥満リスクの割合（令和5年度）



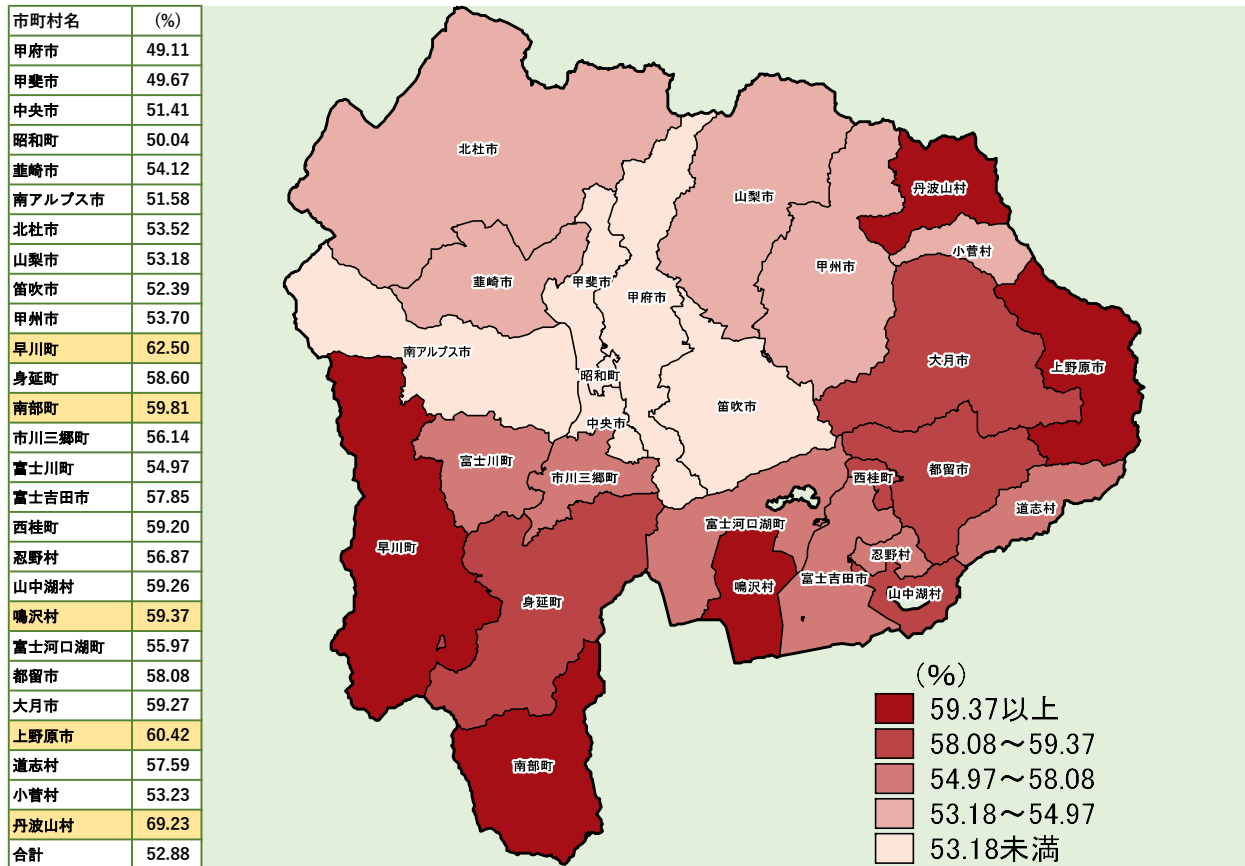
【協会けんぽ+国保】市町村別肥満リスクの割合（令和5年度）



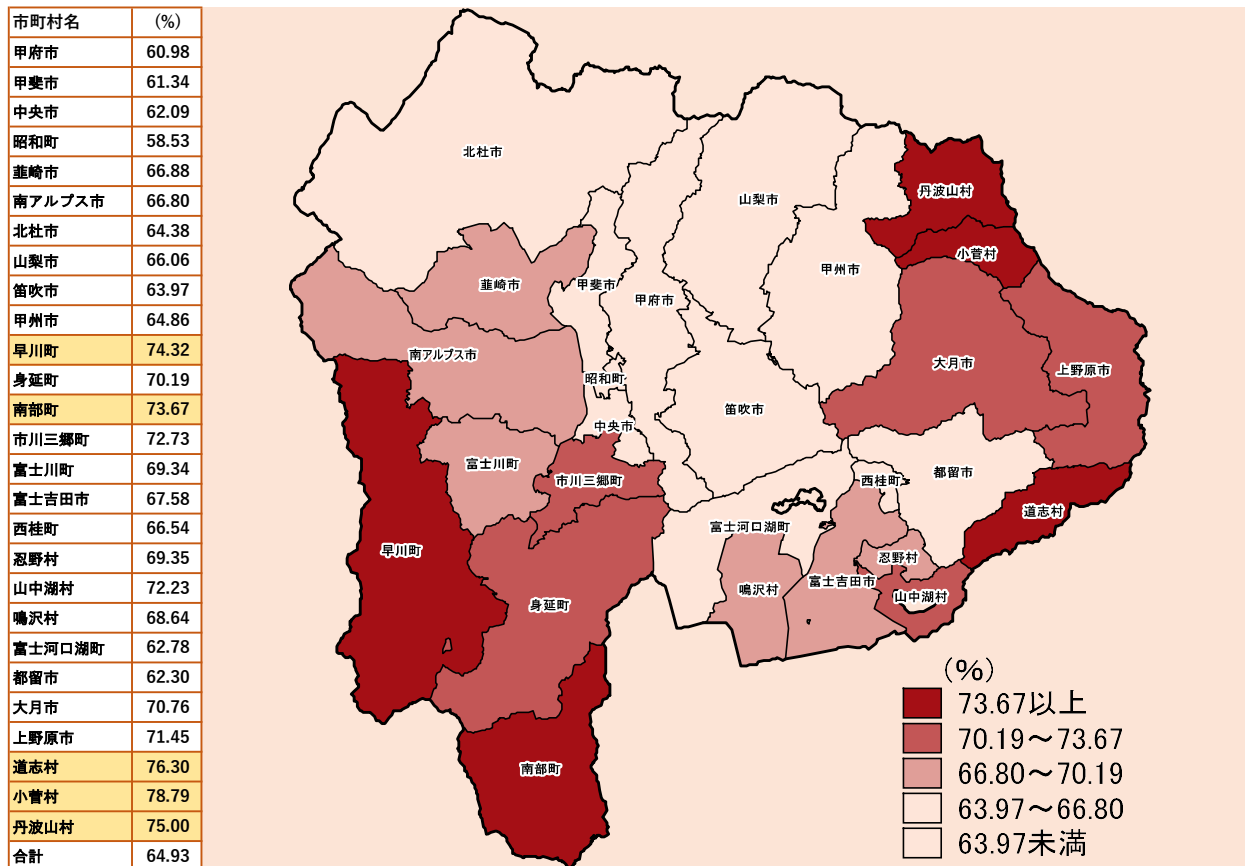
市町村別の肥満リスク割合をみると、協会けんぽでは、早川町、丹波山村、小菅村、道志村、身延町の順に高く、国保では、小菅村、忍野村、丹波山村、身延町、道志村の順に高い。

(3) 血圧リスク

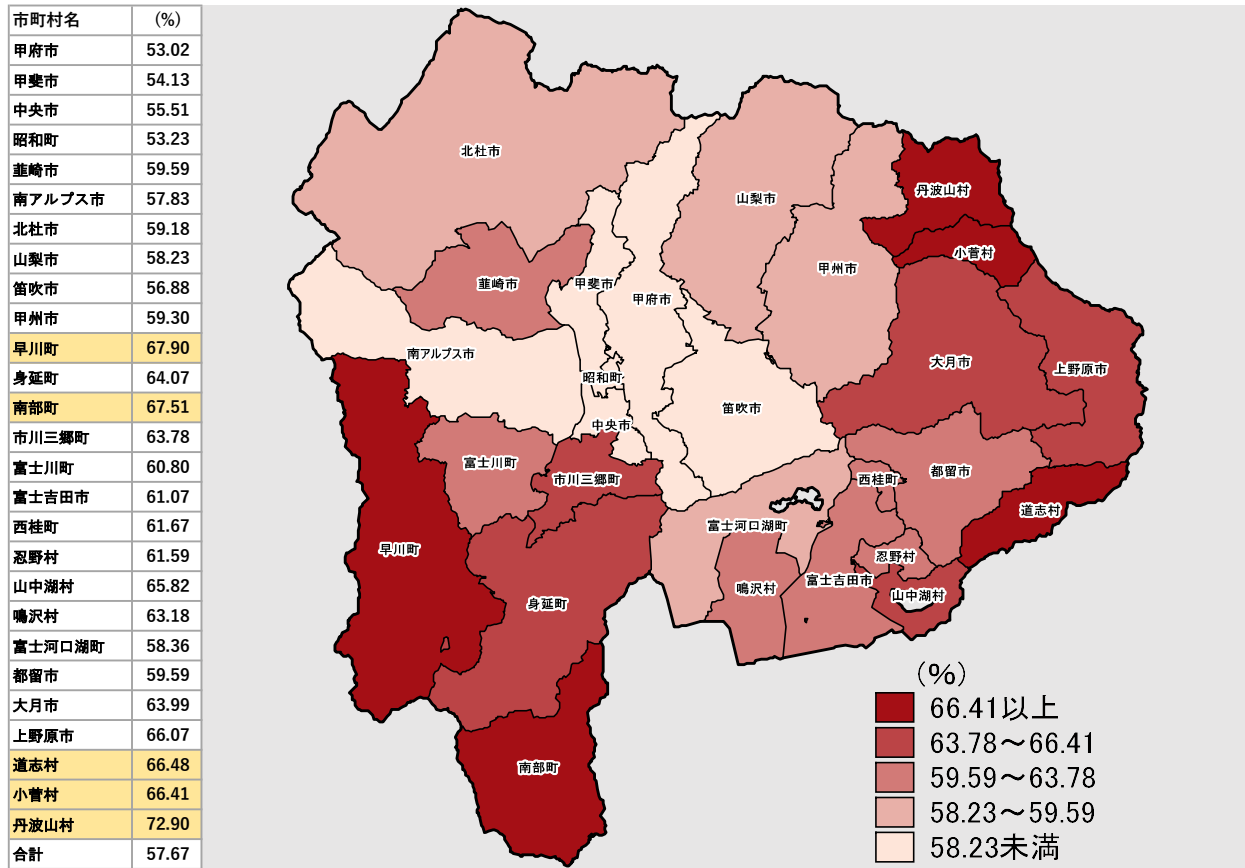
【協会けんぽ】市町村別血圧リスクの割合（令和5年度）



【国保】市町村別血圧リスクの割合（令和5年度）



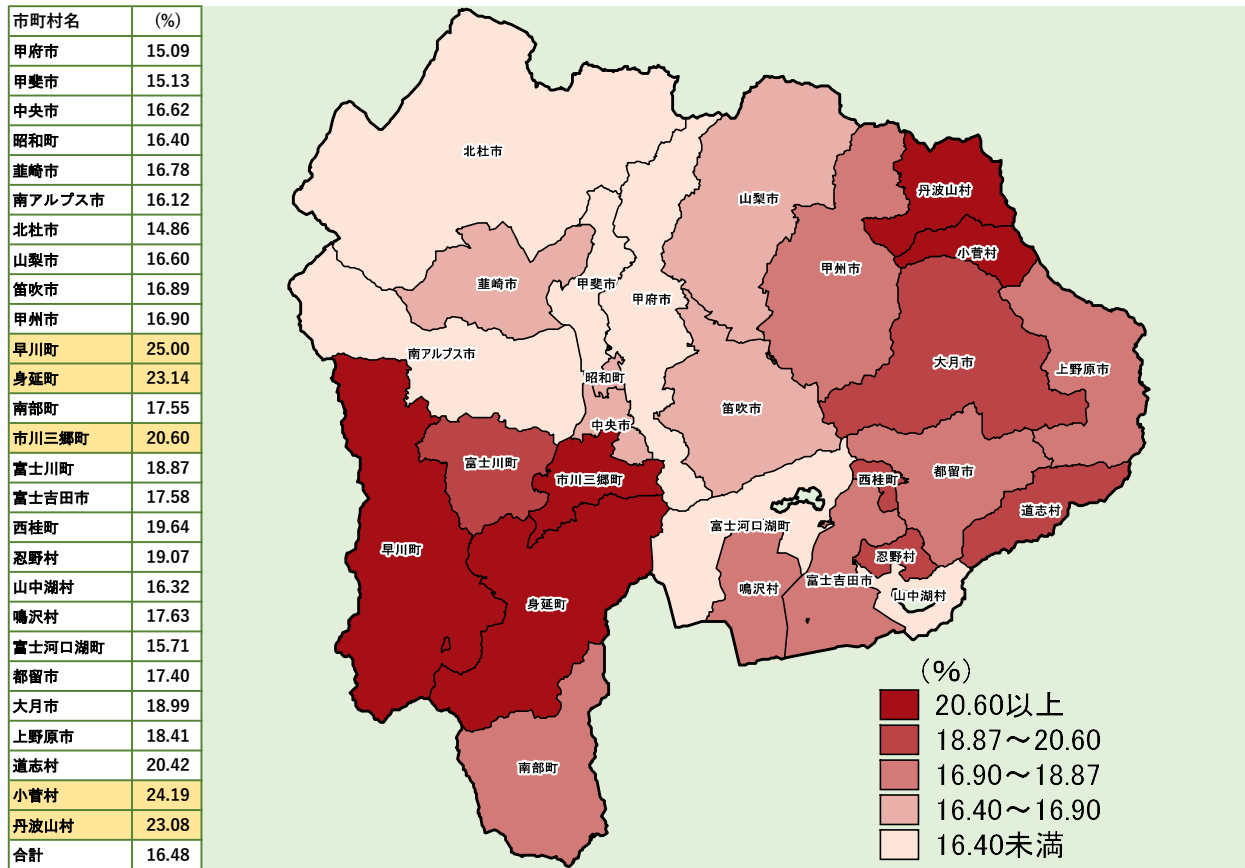
【協会けんぽ+国保】市町村別血圧リスクの割合（令和5年度）



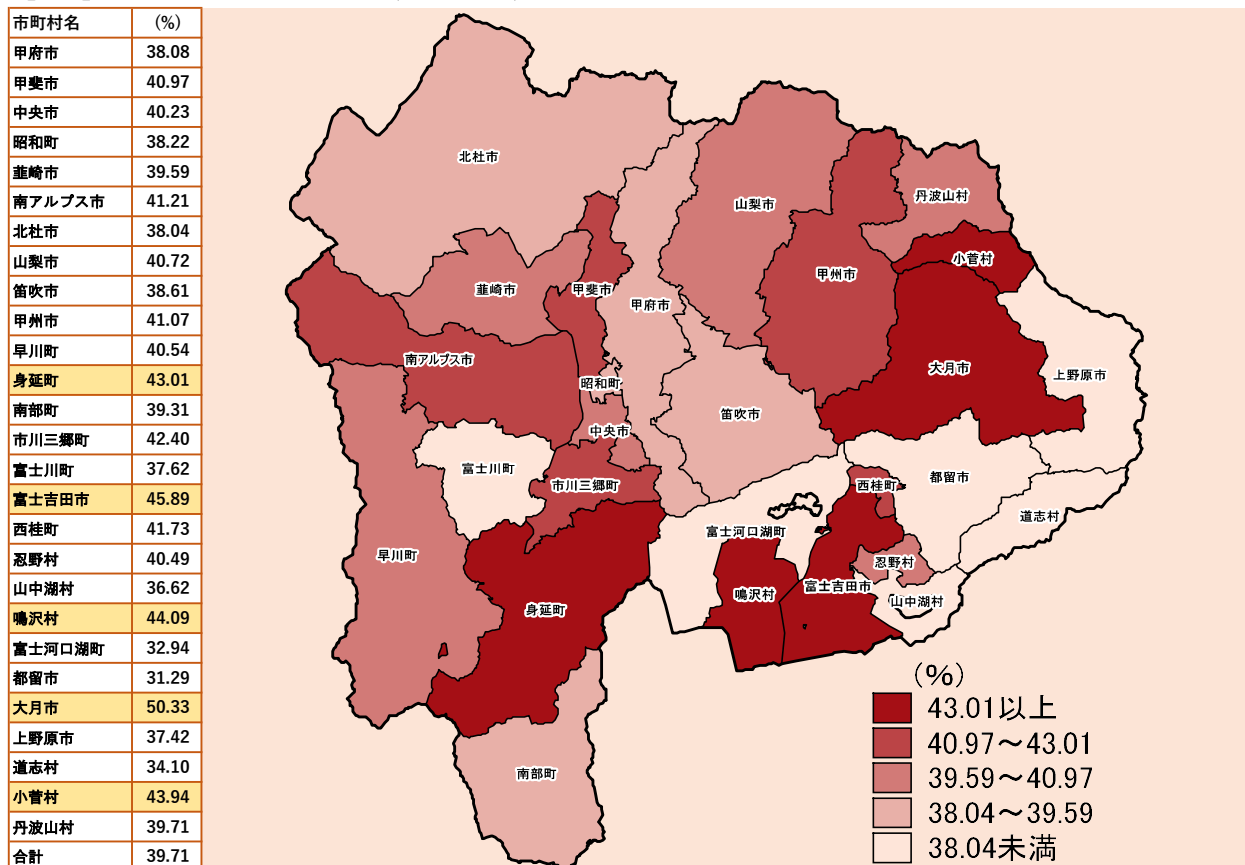
市町村別の血圧リスク割合をみると、協会けんぽでは、丹波山村、早川町、上野原市、南部町、鳴沢村の順に高く、国保では、小菅村、道志村、丹波山村、早川町、南部町の順に高い。

(4) 血糖リスク

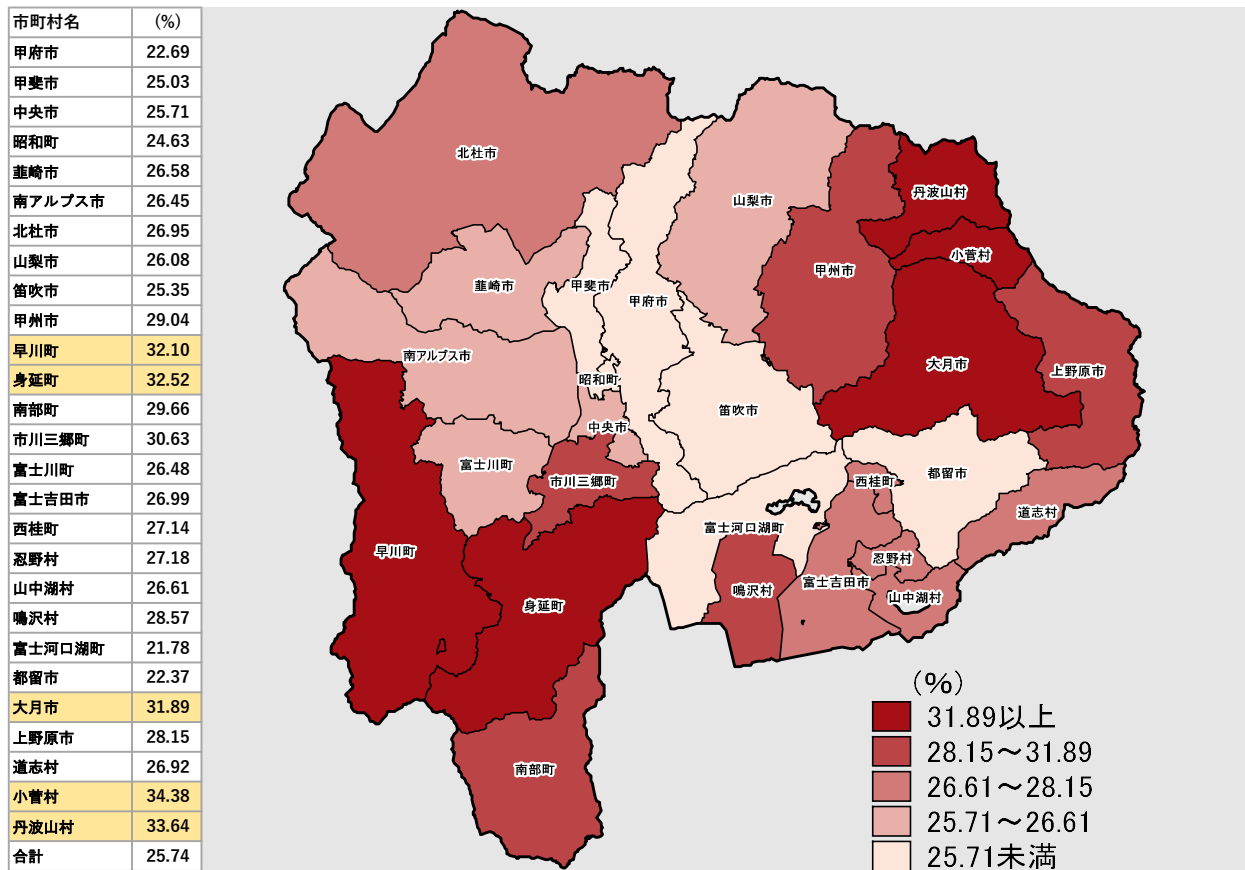
【協会けんぽ】市町村別血糖リスクの割合（令和5年度）



【国保】市町村別血糖リスクの割合（令和5年度）



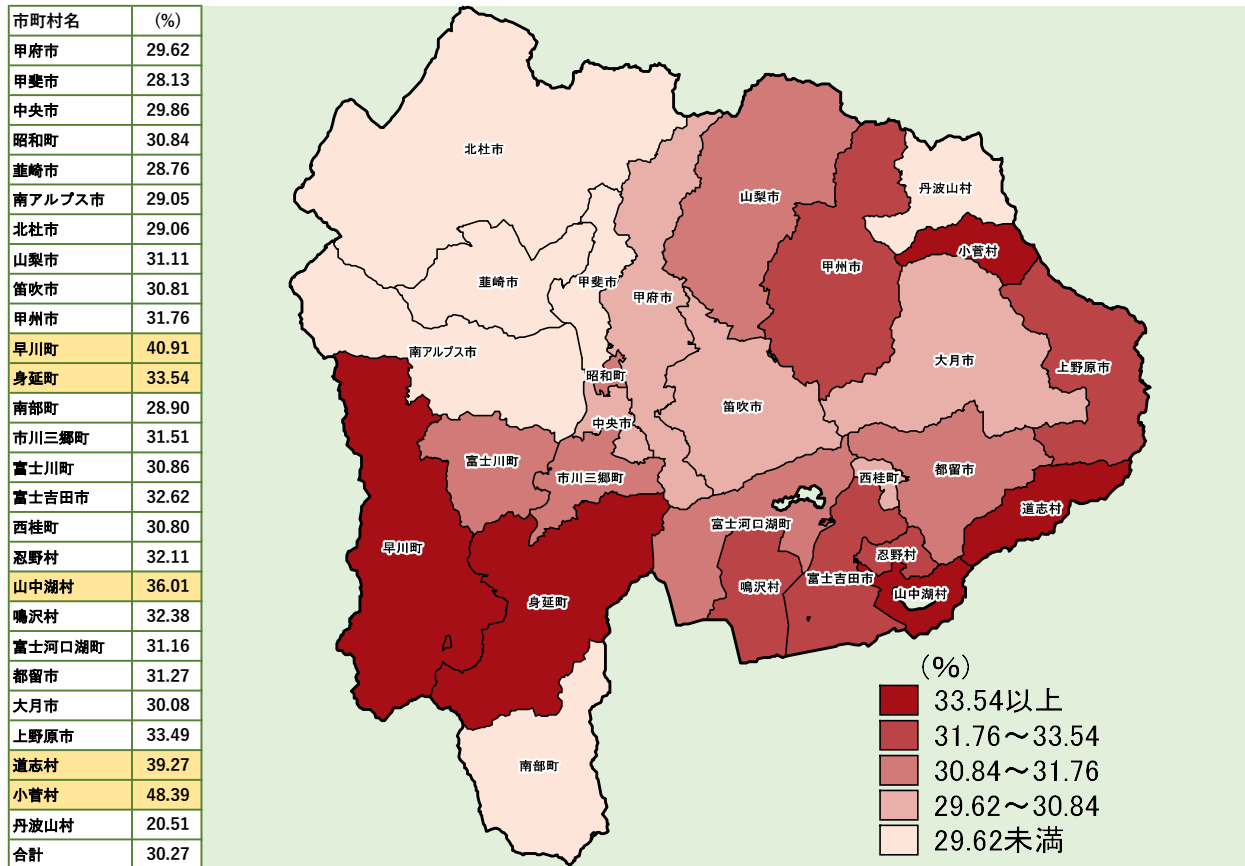
【協会けんぽ+国保】市町村別血糖リスクの割合（令和5年度）



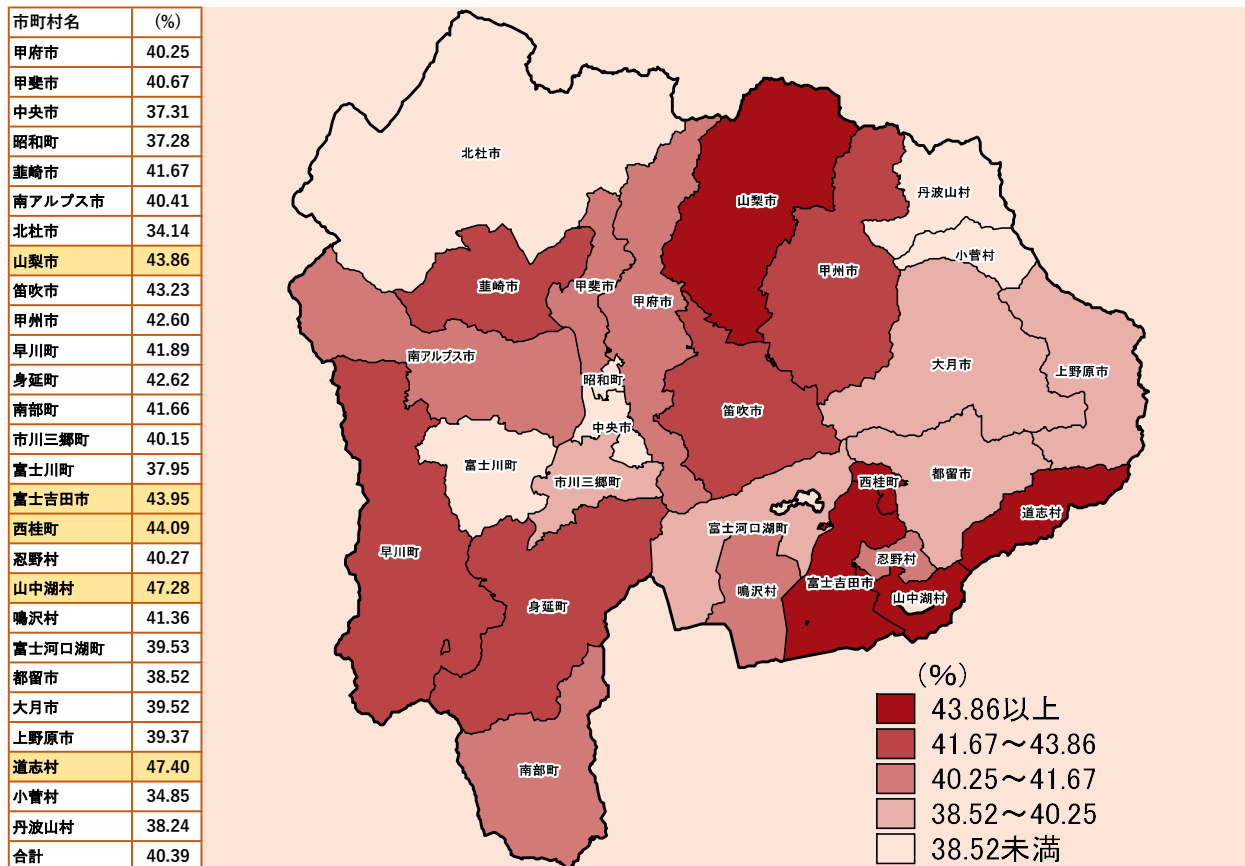
市町村別の血糖リスク割合をみると、協会けんぽでは、早川町、小菅村、身延町、丹波山村、市川三郷町の順に高く、国保では、大月市、富士吉田市、鳴沢村、小菅村、身延町の順に高い。

(5) 脂質リスク

【協会けんぽ】市町村別脂質リスクの割合（令和5年度）



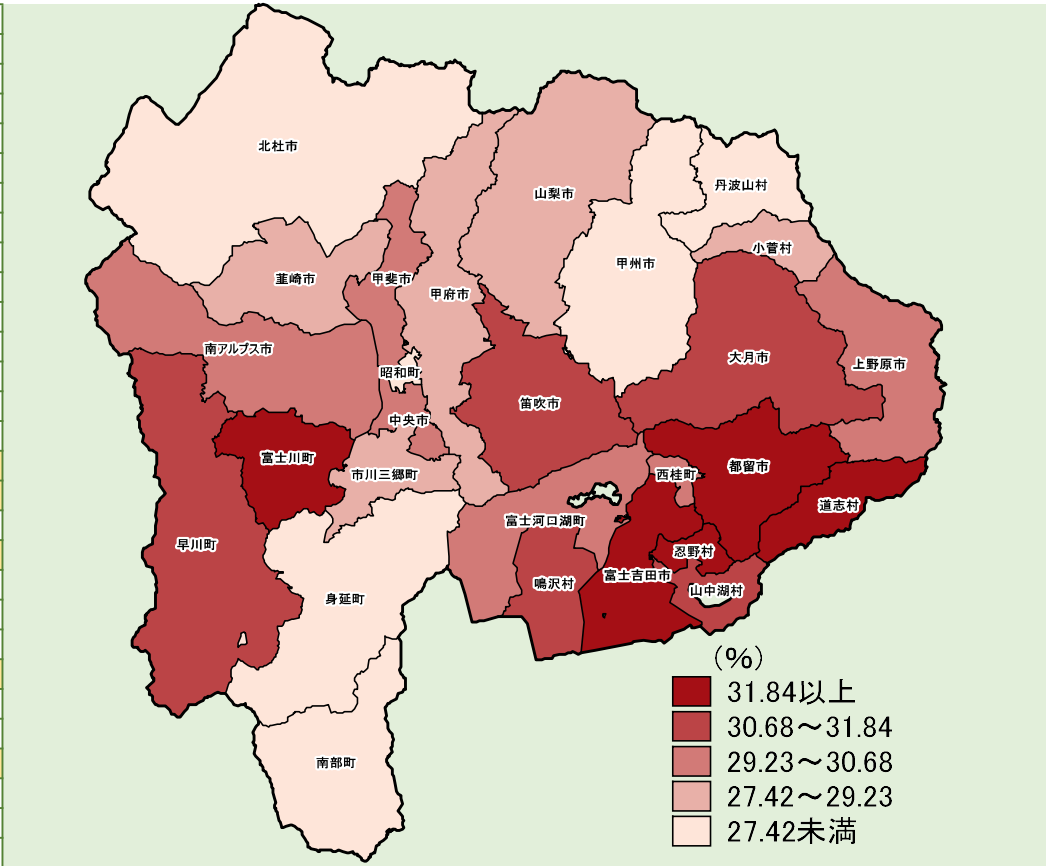
【国保】市町村別脂質リスクの割合（令和5年度）



(6) 喫煙

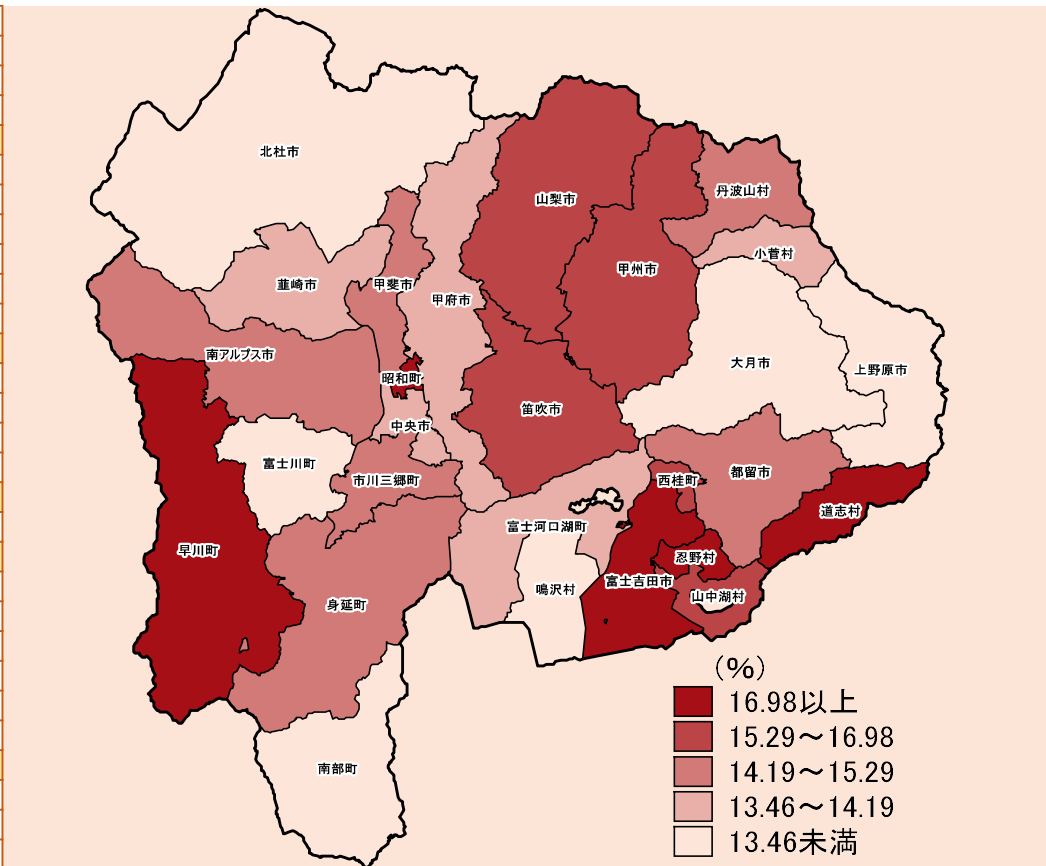
【協会けんぽ】市町村別喫煙ありの割合（令和5年度）

市町村名	(%)
甲府市	28.73
甲斐市	29.91
中央市	29.23
昭和町	26.74
韭崎市	28.66
南アルプス市	30.16
北杜市	25.92
山梨市	27.98
笛吹市	31.74
甲州市	26.51
早川町	30.68
身延町	26.20
南部町	25.04
市川三郷町	27.79
富士川町	31.84
富士吉田市	32.17
西桂町	29.40
忍野村	31.97
山中湖村	31.07
鳴沢村	31.43
富士河口湖町	30.24
都留市	33.03
大月市	30.73
上野原市	29.80
道志村	31.94
小菅村	27.42
丹波山村	20.51
合計	29.51

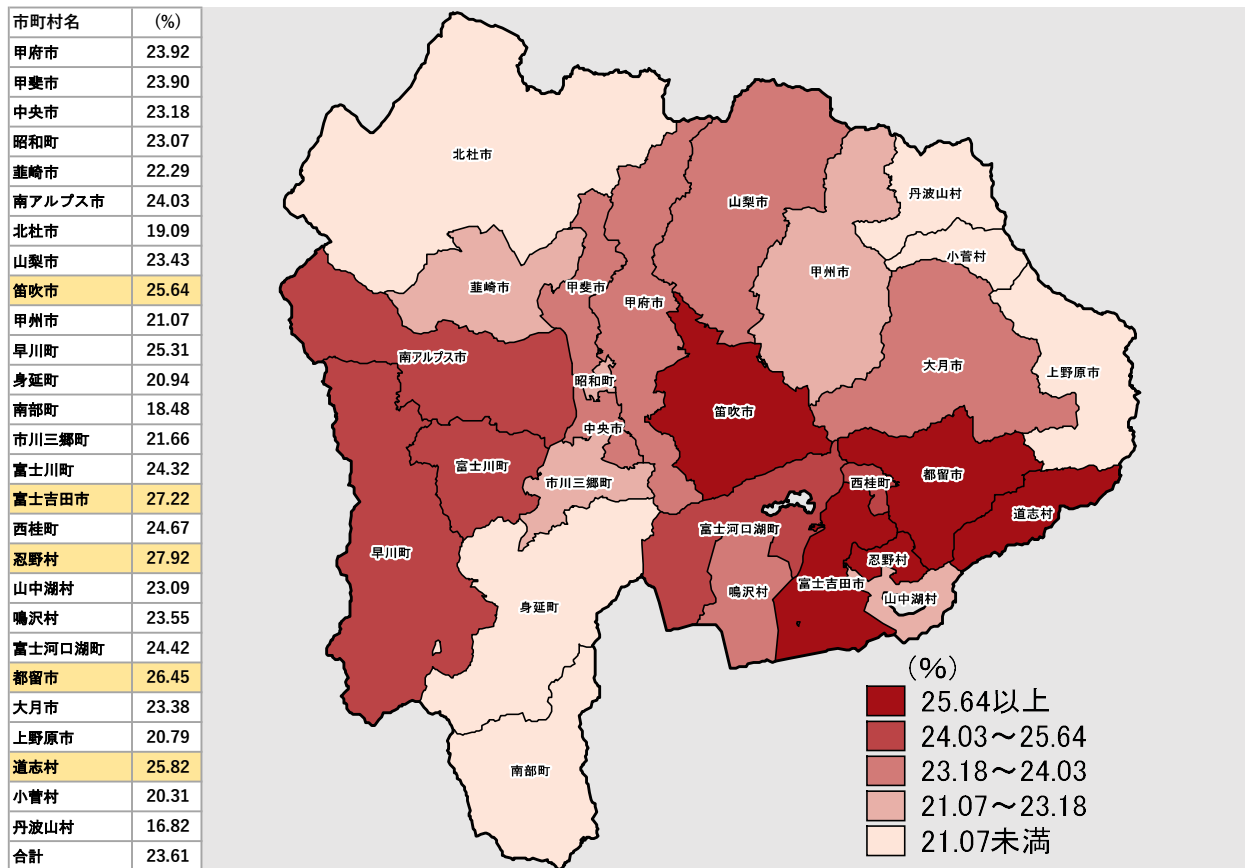


【国保】市町村別喫煙ありの割合（令和5年度）

市町村名	(%)
甲府市	14.12
甲斐市	14.19
中央市	13.46
昭和町	16.98
韭崎市	13.80
南アルプス市	15.25
北杜市	12.81
山梨市	16.37
笛吹市	16.01
甲州市	15.65
早川町	18.92
身延町	15.05
南部町	13.23
市川三郷町	14.47
富士川町	13.28
富士吉田市	17.20
西桂町	15.35
忍野村	21.25
山中湖村	15.29
鳴沢村	12.27
富士河口湖町	13.64
都留市	14.58
大月市	12.82
上野原市	12.19
道志村	19.08
小菅村	13.64
丹波山村	14.71
合計	14.66



【協会けんぽ+国保】市町村別喫煙ありの割合（令和5年度）



市町村別の喫煙割合をみると、協会けんぽでは、都留市、富士吉田市、忍野村、道志村、富士川町の順に高く、国保では、忍野村、道志村、早川町、富士吉田市、昭和町の順に高い。

◆まとめ

1 医療費統計（協会けんぽ・国保・後期高齢者）

- 加入者の総数は、約582,000人で県人口の約75%を占め、制度加入者の割合は、協会けんぽが46%、国保が29%、後期高齢者が24%。
- 医療機関への受診率は、後期高齢者が全体的に高い。協会けんぽ及び国保は0～4歳で高く、徐々に下がり20～24歳で最も低い。その後、年齢に伴い上がり、協会けんぽは70～74歳で、国保は65～69歳で最も高い。
- 1人当たり医療費（年額）は、R4年度に比べてやや増加しており、後期高齢者766,000円（R4:756,000円）、国保317,000円（R4:309,000円）、協会けんぽ200,000円（R4:197,000円）の順に高く、後期高齢者は国保の約2.5倍、協会けんぽの約3.8倍になっている。
- 疾病別医療費割合、1人当たり医療費ともに、後期高齢者では①循環器系の疾患、②筋骨格系及び結合組織の疾患、③新生物の順に高く、国保では①新生物、②循環器系の疾患、③筋骨格系及び結合組織の疾患の順に高い。また、協会けんぽでは①新生物、②循環器系の疾患、③呼吸器系の疾患の順に高い。
- 協会けんぽ、国保、後期高齢者を合計した医療費を市町村別疾病別にみると、第1位は全ての市町村が循環器系の疾患で、第2位は23市町村で新生物、第3位は23市町村で筋骨格系及び結合組織の疾患であった。

2 特定健康診査（協会けんぽ・国保）

- 特定健診の令和5年度の受診率は、協会けんぽ67.4%（R4:63.9%）、国保47.4%（R4:46.9%）で、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、R2年度に一旦、減少したが、協会けんぽ、国保ともに新型コロナウイルス感染症流行以前の受診率を上回り、さらに増加している。
- 国保の特定健診受診率は、40～44歳が最も低く、年齢が上がるとともに高くなり、70～74歳が最も高い。
- メタボリックシンドローム該当者・予備群は、全ての年齢階層で国保に比べて協会けんぽの割合がやや高い。特に、50歳以上の男性は協会けんぽ、国保ともに4割以上がメタボリックシンドローム該当者及び予備群で、女性の約3～4倍高い。
- 肥満リスクは、60～64歳以下は協会けんぽに比べて国保の割合が高く、65～69歳以上は協会けんぽの割合がやや高い。男性は協会けんぽ、国保ともに5割前後に肥満リスクがあり、女性の約2～3倍高い。また、国保の女性は協会けんぽの女性に比べて全ての年齢階層で肥満リスク割合が高い。
- 血圧リスクは、協会けんぽ、国保ともに全ての年齢階層で女性に比べて男性のリスク割合が高い。また、男女ともに国保より協会けんぽが高く、特に、若い世代の40歳代で男性の4～5割、女性の2～3割に血圧リスクがある。

- 血糖リスクは、協会けんぽ、国保ともに全ての年齢階層で女性に比べて男性が高い。また、国保は協会けんぽに比べて全ての年齢階層で血糖リスク割合が高く、男性は約2倍、女性は約3倍高い。
- 脂質リスク割合をみると、国保は協会けんぽに比べてやや高い。また、協会けんぽ、国保ともに女性より男性が高く、特に、40歳代男性では女性の約3倍以上高い。
- 喫煙ありの割合をみると、男性は女性の約3倍高く、40歳代男性は、協会けんぽでは47%以上、国保では37%以上が喫煙している。また、協会けんぽは国保より全ての年齢階層で男女ともに高く、国保の約2倍高い。

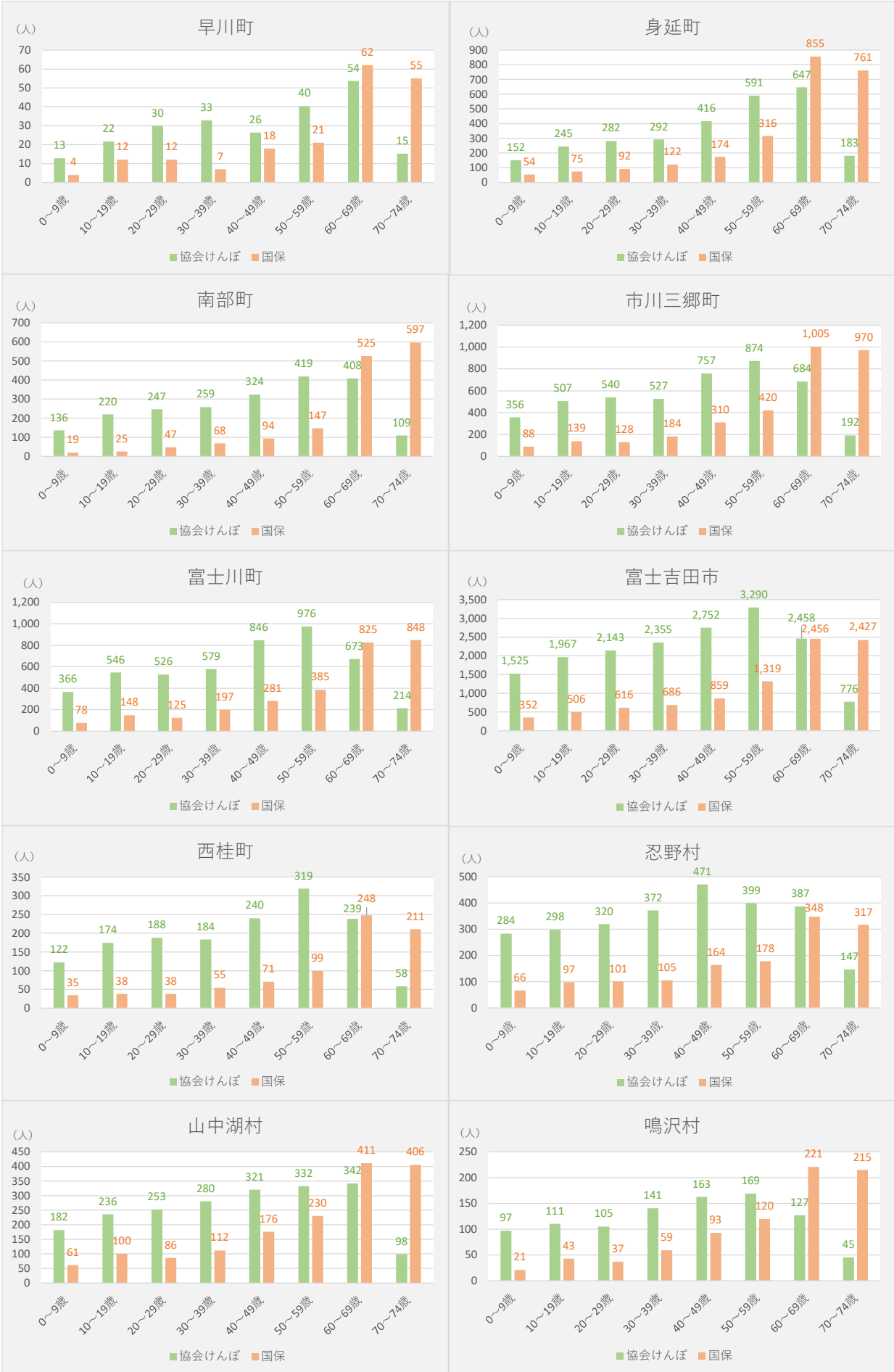
3 保険者を横断的にみた健康課題

- 1人当たり医療費は、R4年度に比べてやや増加しており、後期高齢者医療が国保の約2.5倍、協会けんぽの約3.8倍高い。
- 医療費割合は、循環器疾患（高血圧症、心疾患、脳血管疾患等）、新生物（がん等）、筋骨格系及び結合組織の疾患（関節疾患、骨粗しょう症等）、腎尿路生殖器系の疾患（腎炎、腎不全等）、呼吸器系の疾患（かぜ等）の順に高い。
- 特定健診受診率は、R3年度以降、年々増加しているが、若い世代の受診率が低い。
- 肥満リスクは、国保が協会けんぽより高いが、メタボリックシンドローム該当者・予備群は、協会けんぽがやや高い。特に、男性は約5割に肥満リスクがあり、約4割にメタボリックシンドロームがある。
- 血圧リスクは、全ての年齢階層で、協会けんぽが国保より男女ともに高く、男性が女性より高い。
- 血糖リスクは、全ての年齢階層で、国保が協会けんぽより男女ともに高く、男性が女性より高い。
- 脂質リスクは、協会けんぽ、国保ともに若い世代から男性が高い。
- 喫煙割合は、協会けんぽが国保の約2倍高く、男性が女性の約3倍高い。

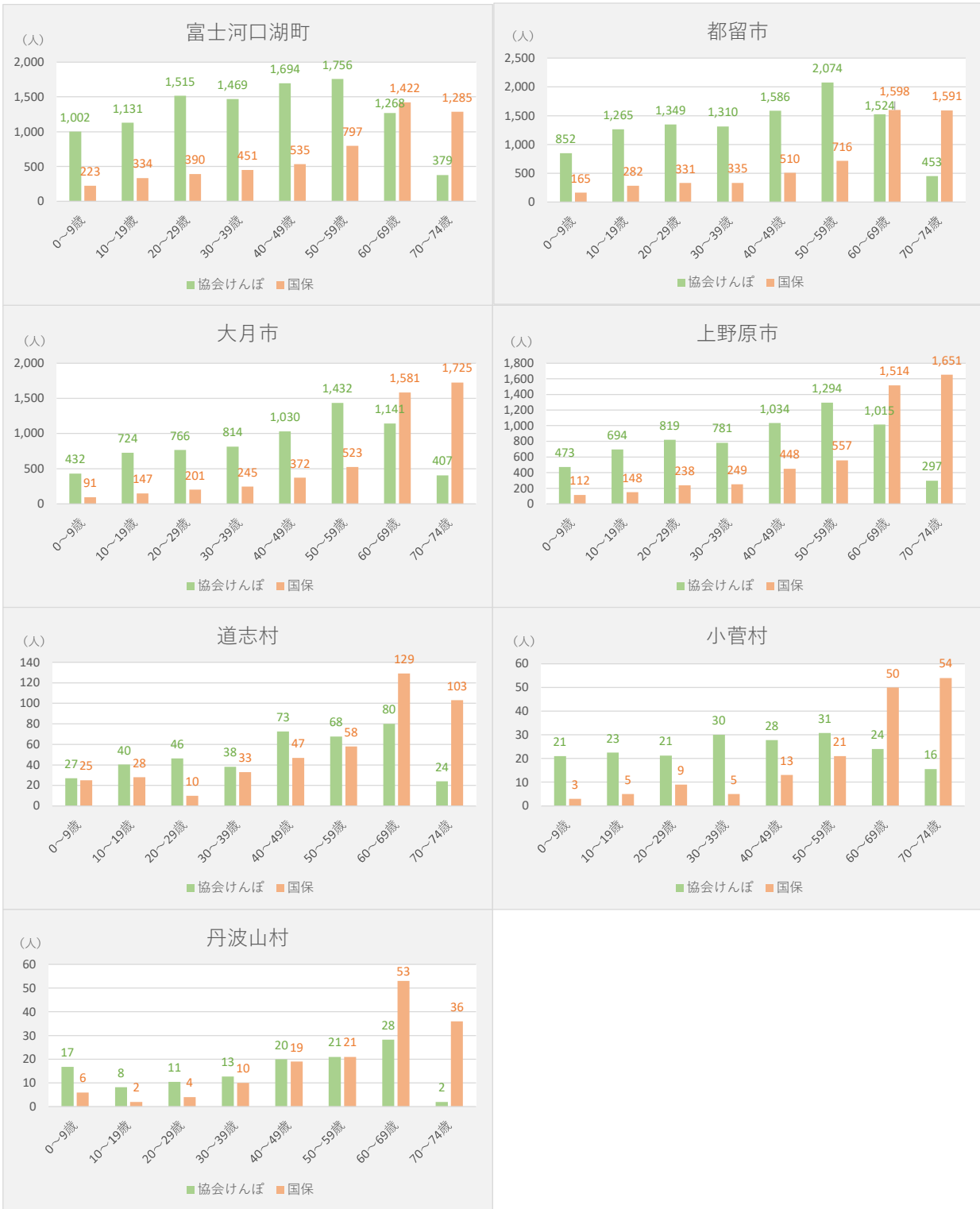
制度別市町村別年齢層別加入者数（令和5年度）（1/3）



制度別市町村別年齢層別加入者数（令和5年度）（2 / 3）



制度別市町村別年齢層別加入者数（令和5年度）（3/3）



KDBシステムに関する補足資料 疾病大・中・細小分類表 (1 / 2)

○ 医療費の分類の集計要件について
 大・中分類：社会保険表章用疾病分類 (※) に基づき集計しているものとなっています。
 細小分類：KDBシステム開発の際、国保中央会が生活習慣病を中心に年齢の変化 (加齢) に伴い着目する疾病を定義したものと なっています。

大分類	中分類	細小分類	大分類	中分類	細小分類
感染症及び寄生虫症	腸管感染症		神経系の疾患	パーキンソン病	パーキンソン病
	結核	肺結核、胸膜炎		アルツハイマー病	
	主として性的伝播様式をとる感染症			てんかん	
	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患			脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	
	ウイルス性肝炎	B型肝炎、C型肝炎		自律神経系の障害	
	その他のウイルス性疾患			その他の神経系の疾患	一過性脳虚血発作、睡眠時無呼吸症候群、パーキンソン病
	真菌症		眼及び付属器の疾患	結膜炎	
	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症			白内障	白内障
	その他の感染症及び寄生虫症	非定型 (非結核性) 抗酸菌症、ヘリコバクターヒロリ感染症		屈折及び調節の障害	
新生物 < 腫瘍 >	胃の悪性新生物 < 腫瘍 >	胃がん、(再) スキルス	その他の眼及び付属器の疾患	その他の眼及び付属器の疾患	緑内障、糖尿病網膜症
	結腸の悪性新生物 < 腫瘍 >	大腸がん	外耳炎	外耳炎	
	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 < 腫瘍 >		その他の外耳疾患	その他の外耳疾患	
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 < 腫瘍 >	肝がん	中耳炎	中耳炎	
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 < 腫瘍 >	肺がん	その他の中耳及び乳様突起の疾患	その他の中耳及び乳様突起の疾患	
	乳房の悪性新生物 < 腫瘍 >	乳がん	メニール病	メニール病	
	子宮の悪性新生物 < 腫瘍 >	子宮頸がん、子宮体がん	その他の内耳疾患	その他の内耳疾患	
	悪性リンパ腫		その他の内耳疾患	その他の内耳疾患	難聴
	白血病	白血病	循環器系の疾患	高血圧性疾患	高血圧症
	その他の悪性新生物 < 腫瘍 >	食道がん、喉頭がん、扁桃がん、骨がん、脳腫瘍、甲状腺がん、腎臓がん、膀胱がん、前立腺がん、卵巣腫瘍 (悪性)		虚血性心疾患	狭心症、心筋梗塞
	良性新生物 < 腫瘍 > 及びその他新生物 < 腫瘍 >	子宮筋腫、卵巣腫瘍 (良性)		その他の心疾患	不整脈、心臓弁膜症、心房・心室中隔欠損症
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血	貧血		くも膜下出血	くも膜下出血
	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害			脳内出血	脳出血
内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺腺腫	甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症		脳梗塞	脳梗塞
	糖尿病	糖尿病		脳動脈硬化 (症)	
	脂質異常症	脂質異常症		その他の脳血管疾患	
	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	痛風、高尿酸血症		動脈硬化 (症)	
精神及び行動の障害	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	呼吸器系の疾患	急性鼻咽頭炎 (かぜ)	大動脈瘤、食道静脈瘤
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害			急性咽喉炎及び急性扁桃炎	
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症		その他の急性上気道感染症	
	気分 (感情) 障害 (躁うつ病を含む)	うつ病		肺炎	肺炎
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害			急性気管支炎及び急性細気管支炎	
	知的障害 (精神遅滞)			アレルギー性鼻炎	
	その他の精神及び行動の障害	認知症		慢性副鼻腔炎	
				急性又は慢性と明示されない気管支炎	
				慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

(※) 「社会保険表章用疾病分類」とは、世界保健機関 (WHO) により公表されている「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」(略称、国際疾病分類；ICD) に準じて定められたものであり、社会保険の分野で疾病統計を作成する際の統一基準として広く用いられているもの。

KDBシステムに関する補足資料 疾病大・中・細小分類表 (2 / 2)

大分類	中分類	細小分類
呼吸器系の疾患	喘息	気管支喘息
	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ、間質性肺炎、気胸
消化器系の疾患	う蝕	
	歯肉炎及び歯周疾患	
	その他の歯及び歯の支持組織の障害	
	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍、十二指腸潰瘍
	胃炎及び十二指腸炎	
	痔核	
	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害
	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	
	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変
	その他の肝疾患	脂肪肝、肝硬変
	胆石症及び胆のう炎	胆石症
	脾疾患	慢性脾炎
	その他の消化器系の疾患	逆流性食道炎、中垂炎、大腸ポリープ、腸閉塞、クローン病、潰瘍性腸炎、肝硬変
皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症	
	皮膚炎及び湿疹	
	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	
筋骨格系及び結合組織の疾患	炎症性多発性関節障害	痛風・高尿酸血症、関節疾患
	関節症	関節疾患
	脊椎障害（脊椎症を含む）	
	椎間板障害	
	頸胸症候群	
	腰痛症及び坐骨神経痛	関節疾患
	その他の脊柱障害	
	肩の障害	
	骨の密度及び構造の障害	骨粗しょう症
	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	
泌尿器系の疾患	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎・ネフローゼ
	腎不全	慢性腎臓病（透析なし）、慢性腎臓病（透析あり）
	尿路結石症	腎結石、尿路結石（尿管・膀胱）
	その他の泌尿器系の疾患	

大分類	中分類	細小分類
尿路性器系の疾患	前立腺肥大（症）	前立腺肥大
	その他の男性生殖器の疾患	
	月経障害及び閉経周辺期障害	
	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	乳腺症
	妊娠、分娩及び産じょく	流産
	妊娠高血圧症候群	
	単胎自然分娩	
	その他の妊娠、分娩及び産じょく	
	妊娠及び胎児発育に関連する障害	
	その他の周産期に発生した病態	
	先天奇形、変形及び染色体異常	心臓の先天奇形
	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	
	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	肺結核、胸膜炎
	損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折
		骨折
		頭蓋内損傷及び内臓の損傷
		熱傷及び腐食
		中毒
		その他損傷及びその他外因の影響
		重症急性呼吸器症候群（SARS）
		その他の特殊目的用コード
		傷病及び死亡の外因
		健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
		予防接種
		正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画
		歯の補てつ
		特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者
		その他の理由による保健サービスの利用者
		廃止傷病
		廃止傷病